

平成20年度

「我が国におけるSPA・サービスの現状と展望に関する
調査研究」

報告書

平成21年3月

経済産業省

委託先：三井情報株式会社総合研究所

平成20年度

「我が国におけるSPA・サービスの現状と展望に関する
調査研究」

報告書

平成21年3月

経済産業省

委託先：三井情報株式会社総合研究所

目次

第1章 国内スパ・サービス事業者アンケート調査概要	1
1. 調査目的	1
(1) 調査対象の考え方	1
(2) アンケート調査仕様	1
(3) 回収率	2
(4) 回答者属性	3
第2章 国内スパ・サービス事業者アンケート調査結果	4
1. 我が国におけるスパ・サービス市場の現状	4
(1) スパ・サービスを提供している施設と業種	4
(2) スパ施設の地域特性	5
(3) スパ・サービスの顧客層	7
(4) スパ・サービスの種類と今後の傾向	9
(5) スパ・サービス産業の市場規模	11
2. 我が国におけるスパ・セラピストの現状	14
(1) スパ・セラピストの雇用状況	14
(2) スパ・セラピストの資格保有状況	15
(3) サービスを提供する際に重要と考えられている資格	17
(4) スパ・セラピスト人材の不足感	19
3. スパ・サービス産業の成長性（店舗拡大意向/スパ・セラピスト新規雇用意向）	22
(1) 店舗拡大意向	22
(2) スパ・セラピスト新規雇用意向	23
(3) 地域別の意向	24
(4) 施設形態別の意向	25
4. 施設形態別分析	26
(1) シティホテル	28
(2) リゾートホテル	30
(3) 大型商業施設内	32
(4) エステサロン	34
(5) 健康ランド/スーパー銭湯	36
(6) 温泉・旅館施設	38
(7) フィットネス/スポーツ施設	40
(8) その他の施設	42

－ 図 表 目 次 －

図表 1	調査仕様.....	2
図表 2	回答事業所・施設の属性.....	3
図表 3	回答事業所・施設におけるスパ・サービスの提供状況と施設の形態.....	4
図表 4	スパ施設を運営する業種の内訳.....	5
図表 5	スパ施設の所在地【地域別】.....	5
図表 6	スパ施設の所在地【都道府県別】.....	6
図表 7	スパ施設の形態【地域別】.....	6
図表 8	顧客ターゲット.....	7
図表 9	施設への来客者数の推移.....	7
図表 10	年間来客者数の推移.....	8
図表 11	スパ・サービス・メニュー.....	9
図表 12	現在提供中のサービス・メニュー【複数回答】.....	10
図表 13	今後の注力・新規導入意向の高いサービス・メニュー【複数回答】.....	10
図表 14	客単価（算出額）【施設形態別】.....	11
図表 15	年間来客者総数（2008年）【施設形態別・1施設あたり】.....	11
図表 16	スパ・サービス産業（回答した企業）の売上高（算出額）【施設形態別】	12
図表 17	スパ・セラピスト雇用状況と雇用の形態.....	14
図表 18	雇用中のスパ・セラピストの特徴.....	15
図表 19	【雇用形態別】スパ・セラピストの平均賃金（月額）（上から順に最大・ 平均・最小を表示）.....	15
図表 20	スパ・セラピストの資格取得状況.....	16
図表 21	主なサービス提供の際に重要と考えられる資格【複数回答】.....	17
図表 22	関係が多対多となるケース.....	18
図表 23	関係が一对一（多）となる主なケース.....	18
図表 24	スパ・セラピスト人材の不足感【複数回答】.....	19
図表 25	スパ・セラピスト人材の不足感（質的不足の詳細）【複数回答】.....	20
図表 26	人材の質・量が全方位的に不足しているスパ・サービス・メニュー.....	20
図表 27	人材の質の不足が見られるスパ・サービス・メニュー.....	21
図表 28	今後5年以内の店舗拡大意向.....	22
図表 29	今後5年以内のスパ・セラピスト新規雇用意向.....	23
図表 30	今後5年以内の店舗拡大意向【地域別】.....	24
図表 31	今後5年以内のスパ・セラピスト新規雇用意向【地域別】.....	24
図表 32	今後5年以内の店舗拡大意向【施設形態別】.....	25
図表 33	今後5年以内のスパ・セラピスト新規雇用意向【施設形態別】.....	25

図表 34	【参考】施設形態による主な特徴（平成 19 年度調査）	26
図表 35	施設形態による主な特徴（平成 20 年度調査）	27
図表 36	【シティホテル】施設の特徴	28
図表 37	【シティホテル】顧客ターゲット	28
図表 38	【シティホテル】スパ・セラピストの雇用状況	28
図表 39	【シティホテル】スパ・サービス・メニュー：トップ 5	29
図表 40	【シティホテル】資格保有状況：トップ 5	29
図表 41	【リゾートホテル】施設の特徴	30
図表 42	【リゾートホテル】顧客ターゲット	30
図表 43	【リゾートホテル】スパ・セラピストの雇用状況	30
図表 44	【リゾートホテル】スパ・サービス・メニュー：トップ 5	31
図表 45	【リゾートホテル】資格保有状況：トップ 5	31
図表 46	【大型商業施設内】施設の特徴	32
図表 47	【大型商業施設内】顧客ターゲット	32
図表 48	【大型商業施設内】スパ・セラピストの雇用状況	32
図表 49	【大型商業施設内】スパ・サービス・メニュー：トップ 5	33
図表 50	【大型商業施設内】資格保有状況：トップ 5	33
図表 51	【エステサロン】施設の特徴	34
図表 52	【エステサロン】顧客ターゲット	34
図表 53	【エステサロン】スパ・セラピストの雇用状況	34
図表 54	【エステサロン】スパ・サービス・メニュー：トップ 5	35
図表 55	【エステサロン】資格保有状況：トップ 5	35
図表 56	【健康ランド／スーパー銭湯】施設の特徴	36
図表 57	【健康ランド／スーパー銭湯】顧客ターゲット	36
図表 58	【健康ランド／スーパー銭湯】スパ・セラピストの雇用状況	36
図表 59	【健康ランド／スーパー銭湯】スパ・サービス・メニュー：トップ 5	37
図表 60	【健康ランド／スーパー銭湯】資格保有状況：トップ 5	37
図表 61	【温泉・旅館施設】施設の特徴	38
図表 62	【温泉・旅館施設】顧客ターゲット	38
図表 63	【温泉・旅館施設】スパ・セラピストの雇用状況	38
図表 64	【温泉・旅館施設】スパ・サービス・メニュー：トップ 5	39
図表 65	【温泉・旅館施設】資格保有状況：トップ 5	39
図表 66	【フィットネス／スポーツ施設】施設の特徴	40
図表 67	【フィットネス／スポーツ施設】顧客ターゲット	40
図表 68	【フィットネス／スポーツ施設】スパ・セラピストの雇用状況	40
図表 69	【フィットネス／スポーツ施設】スパ・サービス・メニュー：トップ 5	41

図表 70	【フィットネス／スポーツ施設】資格保有状況：トップ5	41
図表 71	【その他の施設】施設の特徴.....	42
図表 72	【その他の施設】顧客ターゲット.....	42
図表 73	【その他の施設】スパ・セラピストの雇用状況.....	42
図表 74	【その他の施設】スパ・サービス・メニュー：トップ5	43
図表 75	【その他の施設】資格保有状況：トップ5	43

第1章 国内スパ・サービス事業者アンケート調査概要

1. 調査目的

昨今のストレス社会化に伴う健康・癒しブームを背景に、我が国においても多種多様な「スパ・サービス」が続々と登場し、都心部の高級ホテル・スパの急増や、温泉・海洋深層水等の自然資源を活かしたリゾート・スパ等を全国各地で見かけるようになったが、我が国のスパ業界の実態は明らかとなっていなかった。

そのため、大きな成長性・可能性を持つと考えられるスパ・サービス産業の実態を明らかにするため、我が国におけるスパ施設・サービスの水準および人材育成・管理体制、ならびに市場規模等の把握を目的として、国内のスパ事業所・施設に対しアンケート調査を実施した。なお、本アンケートは平成18年度、19年度調査に引き続き、一部を除いて基本的に同一の設問により実施している（昨年まで調査項目としていたスパ・セラピストに求められる能力・人材育成方法および外国人受入れに関する設問については、本年度の調査では割愛している）。

(1) 調査対象の考え方

基本的に、平成19年度調査対象者の抽出方針と同一とし、今後、我が国のスパ・ビジネスにおいて発展が期待される下記領域に関連する企業の事業所・施設を調査対象とした。

- 癒し、美容、健康増進といった各種スパ・サービスを提供する新業態
- ホテル・旅館の差別化としてのスパ・ビジネス展開
- フィットネス・クラブのサービスメニュー多様化
- エステティック・サロンのサービスメニュー多様化
- 会員制クラブなどにおける顧客満足度向上を指向するスパ・サービス提供

企業の実態を幅広く把握するという側面も加味し、本アンケートの対象となる事業所・施設を選定する際は、業界団体等が提供する既存リスト等の中から自ら「スパ」を標榜する施設¹を広く母集団とした。

(2) アンケート調査仕様

調査の主な仕様は図表1の通りである。

調査対象者の抽出に際しては、平成19年度調査対象者のうちスパ・サービスを「提供していない」との回答者は除き、昨年度調査時点から現在までに新規参入した事業者等に関してはスパ専門Webサイトやレジャー産業雑誌から追加抽出した。

調査項目については、基本的には昨年度と同一としたが、スパ・セラピストに求められる能力・人材育成方法および外国人受入れに関する設問を割愛した。

¹ わが国においては、スパ・サービスに関する統一された定義などが存在しないことから、「スパ」という用語を使用して自社のサービスを定義している企業および施設を一義的な調査対象とする。

図表 1 調査仕様

調査対象	<p>下記業界団体に加盟している事業者・施設等を調査対象とした。 (基本的に平成 19 年度調査対象と同一としたが、同調査において「スパ・サービスを提供していない」と回答した事業所・施設は除き、平成 19 年度調査実施以降の新規参入事業者・施設をスパ専門サイト、雑誌より抽出した。)</p> <p>【業界団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本スパ振興協会 (NSPA) ・日本エステティック業協会 ・日本フィットネス産業協会 ・(社)日本アロマ環境協会 ・日本ホテル協会 ・日本スパ協会 (JSPA) ・日本エステティック協会 ・日本サウナ・スパ協会 ・日本温泉協会 ・リゾートクラブ協会 <p>【Web サイト、雑誌】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スパ・ファインダージャパン、スパーズ等のスパ専門サイト ・『月刊レジャー産業』、『美・癒・健』(総合ユニコム)、等
調査方法	<p>Web アンケート (葉書督促 1 回) アンケート回答用の Web サイトを設置し、調査を実施 (調査対象に対し、Web による調査実施のご案内および回答方法を郵送)</p>
調査実施期間	2008 年 12 月 1 日～12 月 25 日
調査対象数	発送数 2,963 票 / 有効回収数 368 票 (有効回収率 12.4%)
調査項目	<p>(1)施設概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業種、創業年、資本金、売上げ規模、所在地 (都道府県) ・ 施設形態、施設面積、収容人数、設備 ・ 顧客ターゲット (性別、年代、客単価) ・ スパ・サービスメニュー <p>(2)スパ・セラピストの雇用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 雇用者数、取得資格、担当顧客数、施術時間 ・ サービスを提供するにあたり重要と考える資格 ・ 人材の過不足状況 (不足している場合) 不足する資格や技能の種類 ・ 雇用形態、兼務状況、待遇 <p>(3)スパ・サービス産業の展望と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 店舗数の拡大意向 ・ スパ・セラピスト新規雇用意向 ・ スパ・サービス産業の今後の課題等に関する意見 (自由記述)

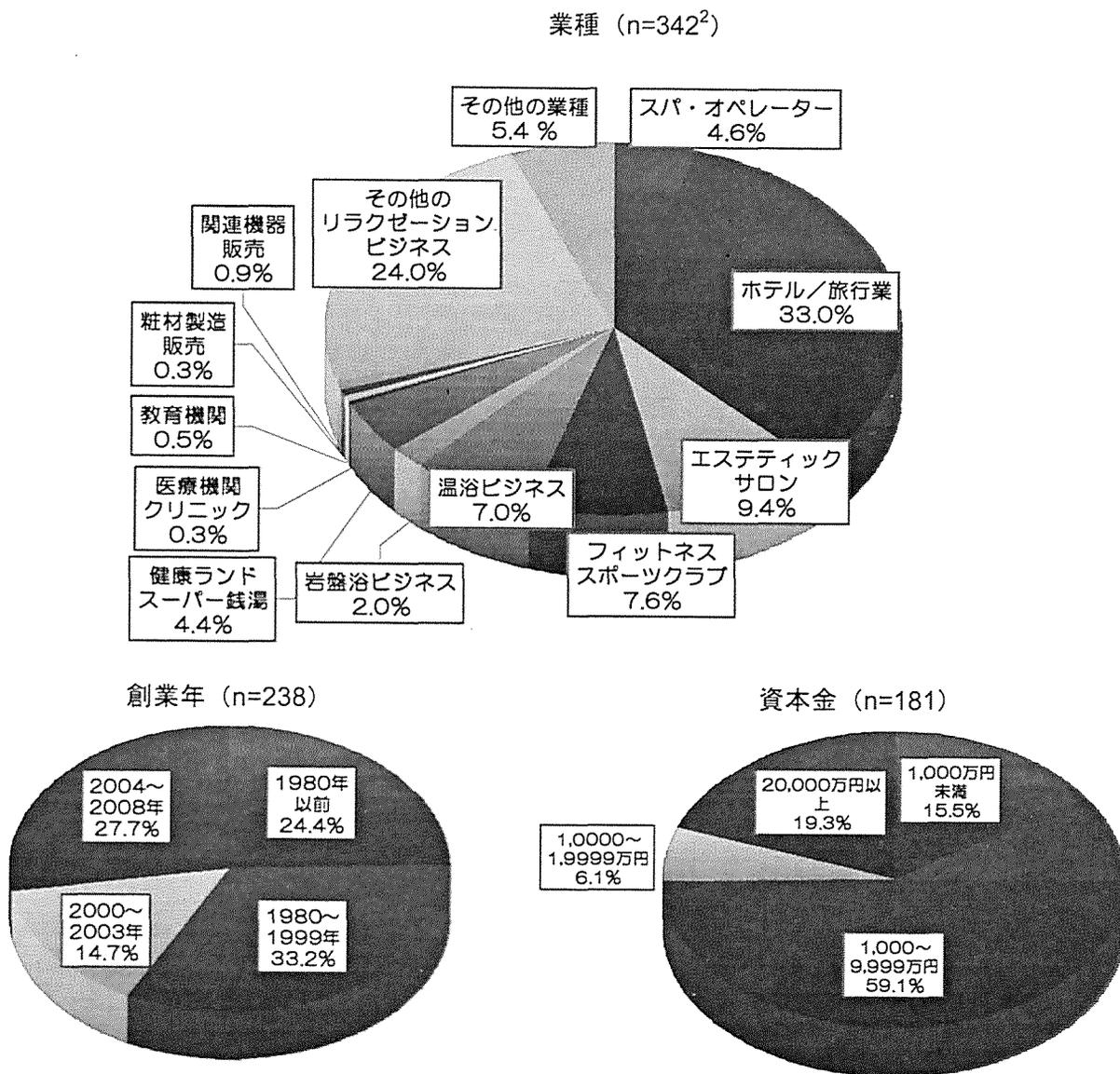
(3) 回収率

有効回収数は 368 票で、回収率は 12.4%であった。

(4) 回答者属性

回答事業所・施設の属性（業種・創業年・資本金）を図表 2に示す。

図表 2 回答事業所・施設の属性



² 調査結果は、各設問における無回答を除いたデータを回答数(n)としている。

第2章 国内スパ・サービス事業者アンケート調査結果

1. 我が国におけるスパ・サービス市場の現状

(1) スパ・サービスを提供している施設と業種

現時点において国内では「スパ」を一意に定める定義などが存在しないことから、本調査においては、スパ・サービス提供の有無は各施設の自認に求めている。国内アンケート調査で対象となった施設にスパ・サービス提供の有無をたずねたところ、「スパ・サービスを提供」している施設（以下、「スパ施設」と呼ぶ）は311件（84.5%）であった。

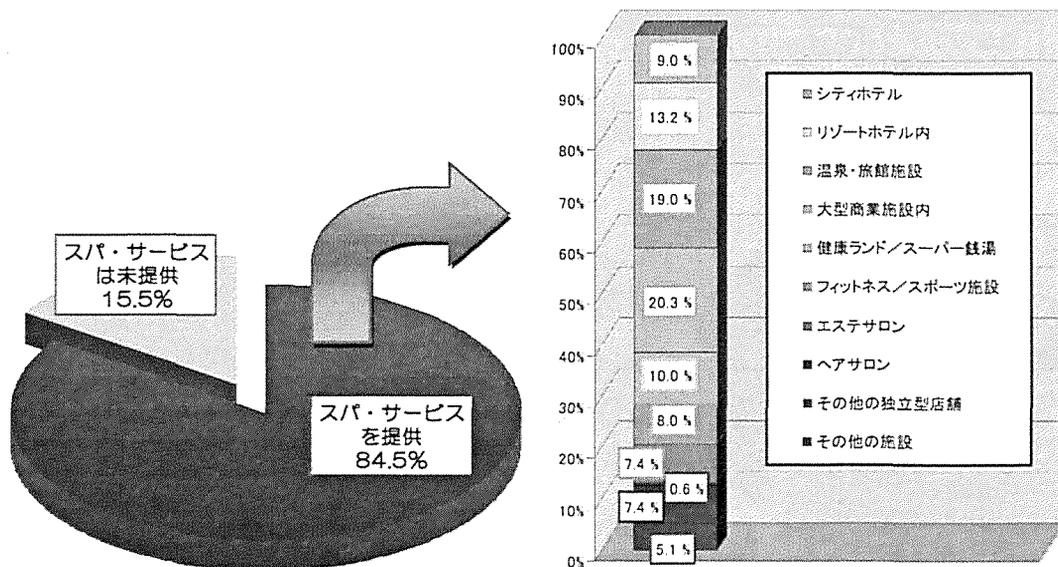
スパ施設について、さらに施設の形態についてたずねたところ「大型商業施設」（20.3%）が最も多く、次いで「温泉・旅館施設」（19.0%）、「リゾートホテル内」（13.2%）が多かった（図表3）。

図表3 回答事業所・施設におけるスパ・サービスの提供状況と施設の形態

スパ・サービス提供の有無（n=368）

スパ施設の形態（n=311）

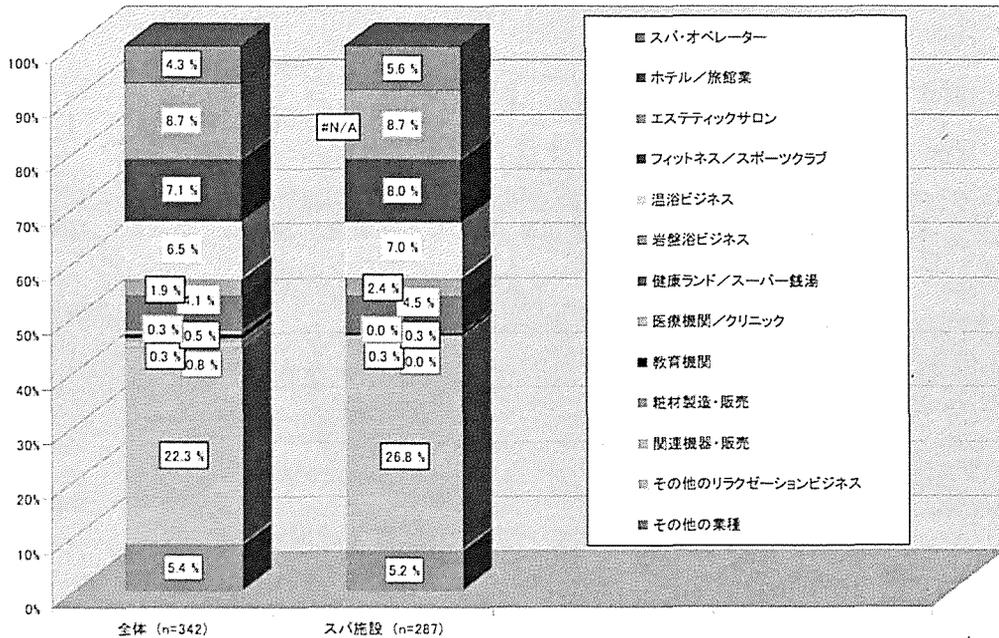
※「スパ・サービスを提供」と回答した311施設が対象



回答事業所・施設属性（P3の図表 2）で示した業種の内訳を、スパ施設を運営する業種の内訳と比較すると、スパ施設の業種は、「ホテル/旅館業」（30.3%）が最も多く、次いで「その他のリラクゼーションビジネス」（26.8%）が多かった（図表 4）。

なお、本節以降ではスパ施設からの回答（311件）を分析対象とする。

図表 4 スパ施設を運営する業種の内訳

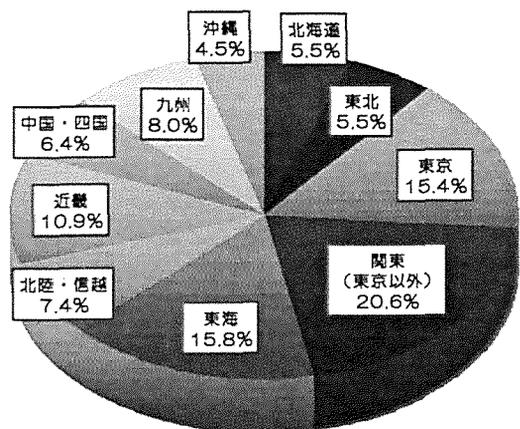


(2) スパ施設の地域特性

図表 5左表に示す地域分類に従い、スパ施設の所在地を地域別³に見ると、「関東（東京以外）」（20.6%）が最も多く、次いで「東海」（15.8%）、「東京」（15.4%）が多かった。

図表 5 スパ施設の所在地【地域別】

地域分類	該当都道府県
北海道	北海道
東北	青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島
東京	東京
関東(東京以外)	茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・神奈川・山梨
東海	静岡・岐阜・愛知・三重
北陸・信越	新潟・長野・富山・石川・福井
近畿	滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山
中国・四国	鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知
九州	福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島
沖縄	沖縄

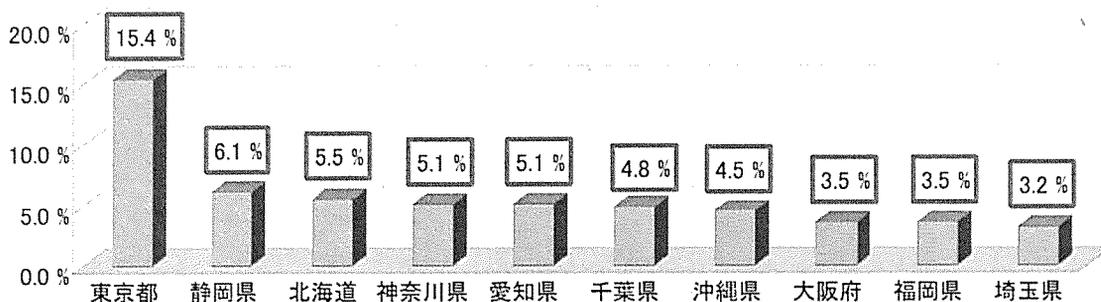


(n=366)

³ 以降で地域別の分析を行う際は、図表 5左表の地域分類に従うことにする

さらに都道府県別の内訳を見ると、東京都（15.4%）が最も多く、次いで静岡県（6.1%）、北海道（5.5%）、神奈川県（5.1%）、愛知県（5.1%）の順であった。

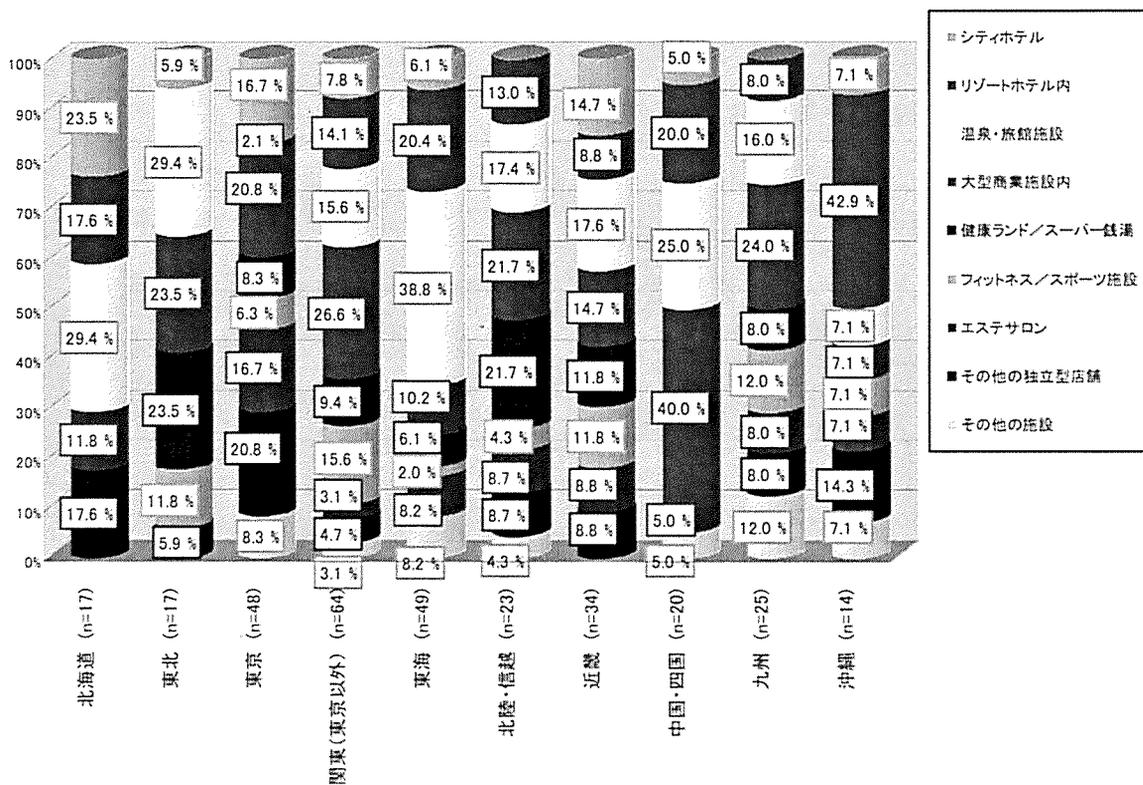
図表 6 スパ施設の所在地【都道府県別】(n=311)



※上位 10 都道府県（全回答の 61.2%）

次に、地域別にスパ施設の形態を比較すると、関東（東京含む）、北陸・信越、中国・四国、九州では「大型商業施設内」が最も多かった。北海道、東北、東海、近畿では「温泉・旅館施設」が最も多かった。沖縄では「リゾートホテル内」が最も多く半数近かった。

図表 7 スパ施設の形態【地域別】



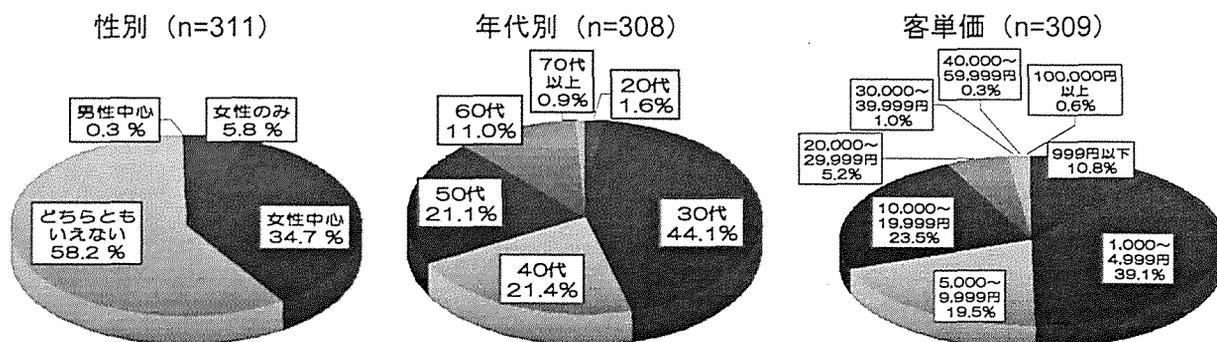
(3) スパ・サービスの顧客層

スパ施設がターゲットとする顧客層について、性別・年代別・客単価の観点からたずねた。

性別については、「どちらともいえない」(58.2%)が最も多く、次いで「女性中心」(34.7%)が多かった。年代別については、「30代」(44.1%)が最も多く、次いで「40代」(21.4%)、「50代」(21.1%)が多かった。客単価については、「1,000～4,999円」(39.1%)が最も多く、次いで「10,000～19,999円」(23.5%)、「5,000～9,999円」(19.5%)が多かった。

なお、客単価の平均値を算出⁴すると、9119.6円となった。

図表 8 顧客ターゲット



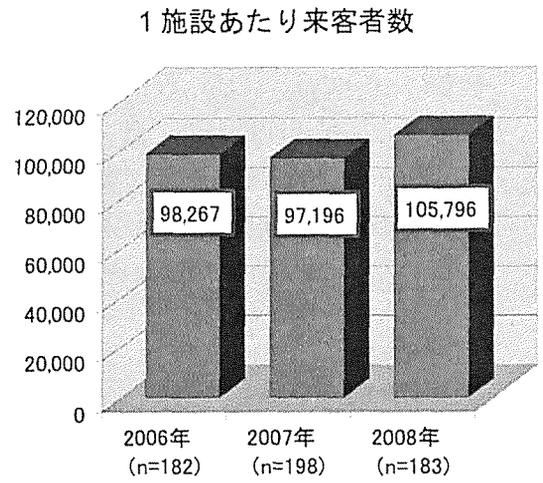
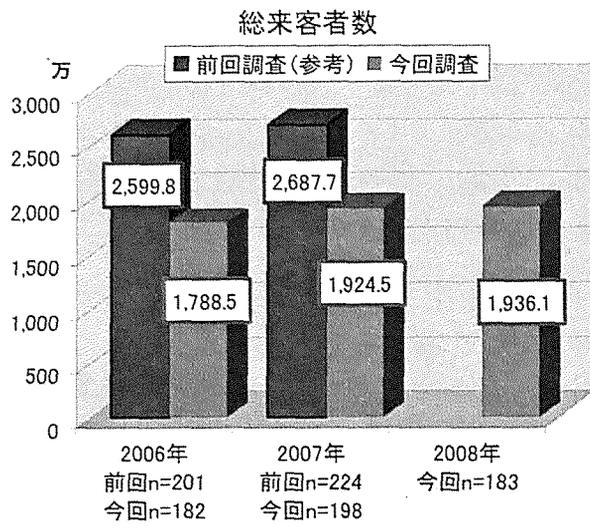
スパ施設への来客者数について、2006～2008年それぞれの年間来客者数をたずねた。図表 9 に来客者数の推移を示す。今回の調査結果では、1施設あたりの年間来客者数は、2006年の98,267人から2008年は105,796人に増加しており、施設あたりの来客者は増加していることが分かる。なお、スパ施設の年間総来客者数(積み上げ)の数字は前回調査に比べて小さくなっているが、これは今回調査での回答企業が前回調査に比べて大きく減ったことによるものであり、単純に年間総来客者数の減少を意味するものではない。

図表 9 施設への来客者数の推移

		2006年	2007年	2008年
今回調査	総来客者数(人/年、全施設)	17,884,583	19,244,777	19,360,634
	1施設あたり来客者数(人/年)	98,267	97,196	105,796
	n:回答施設数	182	198	183
前回調査(参考)	総来客者数(人/年、全施設)	25,998,305	26,876,601	-
	1施設あたり来客者数(人/年)	129,345	119,985	-
	n:回答施設数	201	224	-

⁴各回答に対し「999円以下」を999円、「1,000～4,999円」を3,000円、「5,000～9,999円」を7,500円、「10,000～19,999円」を15,000円、「20,000～29,999円」を25,000円、「30,000～39,999円」を35,000円、「40,000～59,999円」を50,000円、「60,000～99,999円」を80,000円、「100,000円以上」を100,000円として一回当たりのサービスに支払う客単価の平均値を算出した。

図表 10 年間来客者数の推移



(4) スパ・サービスの種類と今後の傾向

スパ施設に対し、図表 11に挙げたスパ・カテゴリー内のメニューごとに、現在提供中のサービスおよび今後注力したい・新規に導入したいと考えているスパ・サービス・メニューについてたずねた。

図表 11 スパ・サービス・メニュー⁵

カテゴリー	サービス・メニュー名称
スパ・トリートメント	タイ古式マッサージ、スウェディッシュマッサージ、中国指圧、その他の指圧、ゲルマニウム温浴、岩盤浴、カプセルサウナ、ウォーターマッサージ、ピーリング（アカスリ）、ボディラップ、ハーブ・ボールマッサージ、天然水を使わない入浴、ジェットバス付タブに入浴、天然水／泥に入浴
スパ・美容サービス	フェイシャルトリートメント、脱毛、ネイル・スパ、アイトリートメント、ヘアドレッシング、メイクアップ
スパ・セラピー	アロマセラピー、リフレクソロジー、タラソセラピー、ハイドロセラピー、ストーン・セラピー、ファンゴ・セラピー、電気療法、自然療法、酸素療法、アーユルヴェーダ
スパ・プログラム	ヨガ、ウェイトマシーン、瞑想、エアロビクス、フィットネストレーニング、スポーツゲーム、スポーツ指導、ダイエットプログラム、レクリエーションプログラム、ライフスタイル指導、栄養・料理教室、太極拳、医療相談

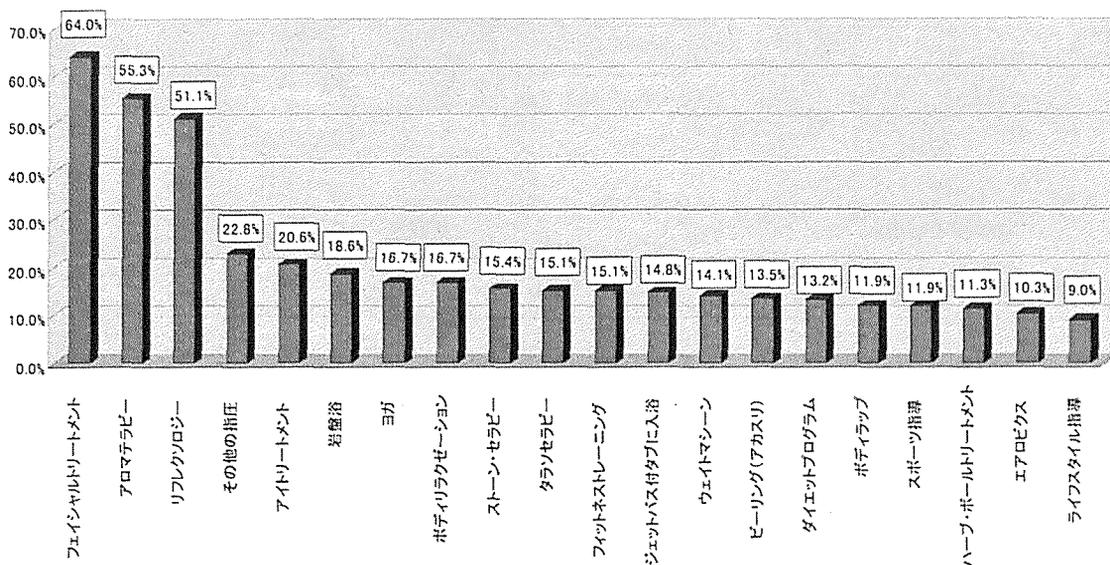
※1 アンケートでは、上記以外に「その他サービス」「商品販売」のカテゴリーを設けて質問を実施した。

※2 アンケートでは、各カテゴリーに対し、それぞれ「その他」（自由記述）の選択肢を設けた。

⁵ “Intelligent Spas, Spa Industry Survey Thailand 2004”内の分類項目に準拠し、三井情報株式会社が設定

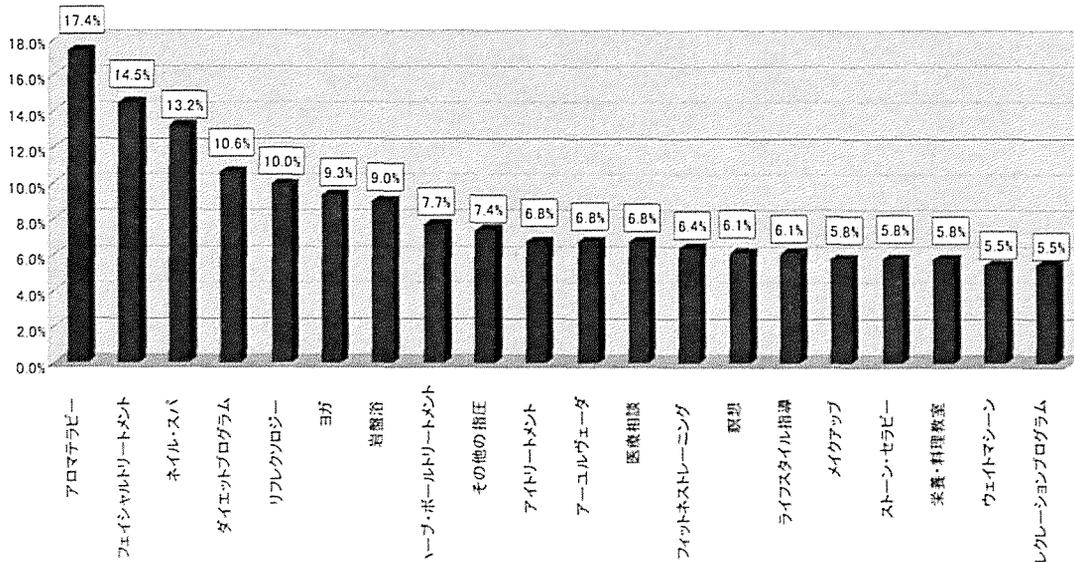
スパ施設における現在の提供率が高い上位 20 サービス・メニューをみると、「フェイシャルトリートメント」(64.0%)が最も多く、次いで「アロマセラピー」(55.3%)、「リフレクソロジー」(51.1%)の順が多かった。

図表 12 現在提供中のサービス・メニュー【複数回答】(n=311)



今後の注力・新規導入意向の高い上位 20 サービス・メニューをみると、「アロマセラピー」(17.4%)が最も多く、次いで「フェイシャルトリートメント」(14.5%)、「ネイル・スパ」(13.2%)、「ダイエットプログラム」(10.6%)、「リフレクソロジー」(10.0%)、「ヨガ」(9.3%)、「岩盤浴」(9.0%)の順が多かった。

図表 13 今後の注力・新規導入意向の高いサービス・メニュー【複数回答】(n=311)



(5) スパ・サービス産業の市場規模

客単価について施設形態別⁶に平均値を算出⁷すると、「リゾートホテル内」の12,671円が最も高く、次いで「温泉・旅館施設」の12,246円、「シティホテル」の12,096円の順であった。

図表 14 客単価（算出額）【施設形態別】

施設形態	客単価 (算出額) (円)
シティホテル (n=26)	12,096
リゾートホテル内 (n=41)	12,671
温泉・旅館施設 (n=59)	12,246
大型商業施設内 (n=63)	4,571
健康ランド/スーパー銭湯 (n=30)	2,483
フィットネス/スポーツ施設 (n=25)	6,120
エステサロン (n=23)	11,239
ヘアサロン (n=1)	15,000
上記以外の独立型店舗 (n=1)	7,500
その他の施設 (n=23)	12,913

2008年の年間総来客者数の内訳として、施設形態別の来客者数をみると、回答施設全体では「健康ランド/スーパー銭湯」の631.3万人（施設数26）が最も多く、次いで「温泉・旅館施設」の527.8万人（施設数48）が多い。1施設当たりの来客者数では、「健康ランド/スーパー銭湯」（24.3万人）が最も多く、次いで「フィットネス/スポーツ施設」（18.7万人）が多かった。

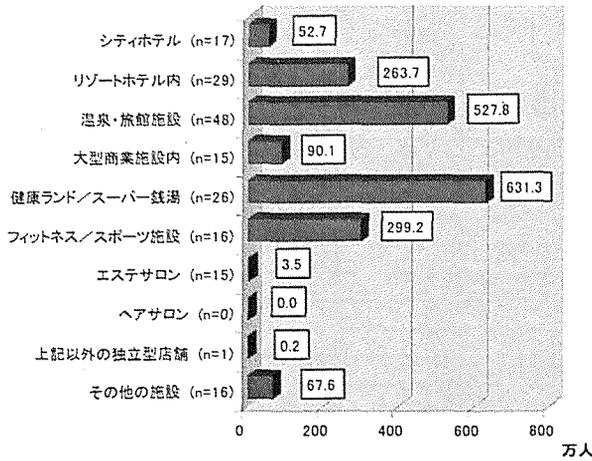
図表 15 年間来客者総数（2008年）【施設形態別・1施設あたり】

施設形態	来客者総数 【A】 (人/年)	回答 施設数 【B】	来客者数算出額 【-施設平均】 【A/B】
シティホテル	527,000	17	31,000
リゾートホテル内	2,636,739	29	90,922
温泉・旅館施設	5,278,497	48	109,969
大型商業施設内	900,506	15	60,034
健康ランド/スーパー銭湯	6,313,167	26	242,814
フィットネス/スポーツ施設	2,992,156	16	187,010
エステサロン	34,928	15	2,329
ヘアサロン	0	0	0
上記以外の独立型店舗	1,640	1	1,641
その他の施設	676,001	16	42,250

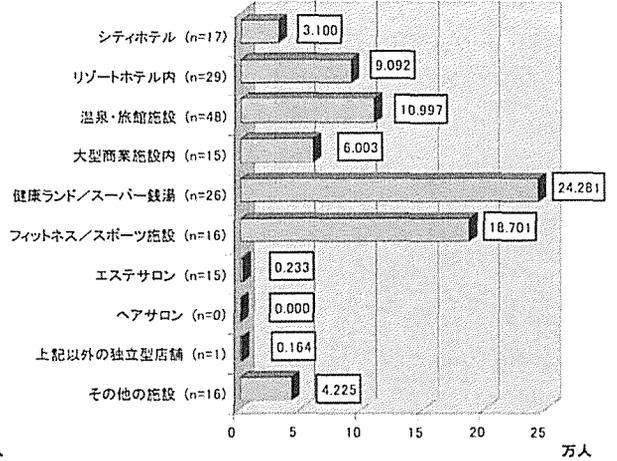
⁶ より精緻な算出を行うため、本節では「エステサロン」、「ヘアサロン」、「上記以外の独立型店舗」は「その他の施設」に統合せずに検討をおこなった。ただし「ヘアサロン」は回答件数1件のため分析から除外した。

⁷ 算出方法はP7の脚注4を参照のこと

施設形態別来客者数【総数】



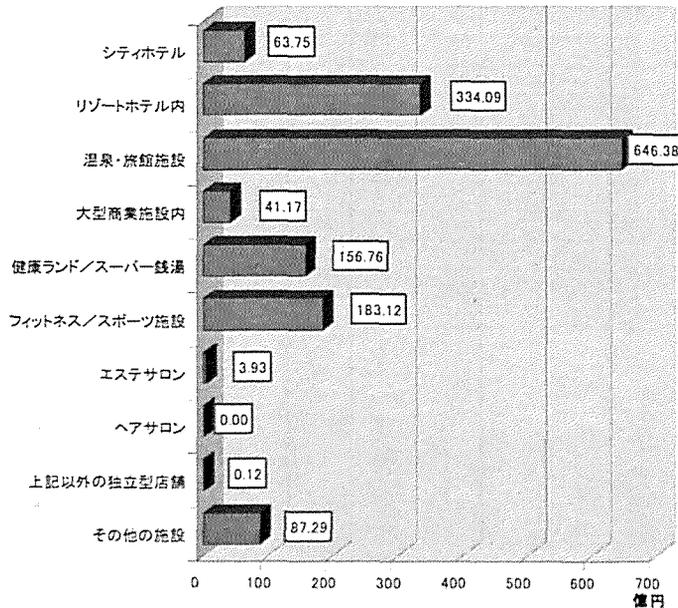
施設形態別来客者数【1施設あたり】



スパ・サービス産業の市場規模を算出すべく、施設形態別の客単価と2008年の年間来客者総数の積から回答企業における年間売上高を推計した⁸ (図表16)。

施設形態別にみると、「温泉・旅館施設」の約646.38億円が最も高く、次いで「リゾートホテル内」の334.09億円が高かった。施設形態別の年間売上高を合算すると、スパ施設の売上高総額は1,516.60億円となった。

図表16 スパ・サービス産業 (回答した企業) の売上高 (算出額) 【施設形態別】



⁸ 例えばシティホテルの場合、客単価12,096円、1施設あたり来客者数31,000人 (回答企業17件計) なので、売上高は

$$12,096 \text{ [円]} \times 31,000 \text{ [人]} \times 17 \text{ [件]} = 6,374,652,816 \text{ 円} \text{ と算出した。}$$

さらに、本アンケートの調査対象になった 2,727 事業所、および調査票送付の便宜上、今年度調査の対象から除いた 284 事業所の計 3,011 事業所を、スパ・サービスを含む母集団「潜在市場全体」と仮定したうえで、スパ・サービス産業の市場規模の推計を試みた⁹。

回答サンプル（368 事業所）および本来スパ・サービス非提供事業所として回答が得られるはずの 284 事業所の計 652 事業所に対し、「スパ・サービスを提供している」と回答したのは 311 事業所となり 47.7%を占める結果となった。つまり、母集団（潜在市場全体 3,011 事業所）中のスパ・サービス産業の市場規模も 47.7%と同等であると仮定できる¹⁰（1,436 事業所）。

サンプル中のスパ・サービス提供事業所（311 事業所）におけるスパ・サービス売上額（客単価×年間来客数）の合計は、約 1,516.60 億円なので、2008 年のスパ・サービス産業の市場規模は

$$1,516.60 \text{ [億円]} \times 1,436 \text{ [件]} \div 311 \text{ [件]} = 7,002.69 \text{ [億円]}$$

と推計できる。

⁹ Web アンケート調査を開始した H19 年度調査にて「現在はスパ・サービスを提供していない」と回答した 284 事業所については、調査票送付の便宜上、今年度調査の母集団から除いている。本推計では、本来回答として得られるはずだったスパ・サービス非提供事業所の数（284 事業所）を、母集団（潜在市場全体）およびサンプル（回答事業所）に付加することで本推計値を補正している。

¹⁰事業所数をベースとした場合、潜在市場全体（3,011 事業所）の規模は、サンプル（652 事業所）の約 4.62 倍である

2. 我が国におけるスパ・セラピストの現状

(1) スパ・セラピストの雇用状況

スパ施設に対し、スパ・セラピスト雇用の有無をたずねたところ、「スパ・セラピストを雇用している」施設（以下、「セラピスト雇用施設」と呼ぶ）は168件（54.0%）であった。以降、2. では、セラピスト雇用施設168件を対象として、スパ・セラピストの就労状況に関する調査結果を示す。

セラピスト雇用施設に対し、雇用中のスパ・セラピストの人数をたずねた。回答施設159件を合計すると、スパ・セラピストの総数は3,476人となった。また、所属しているスパ・セラピストの雇用形態は、中途正規社員の所属がみられる施設の割合が78.0%と最も高く、次いでパート・アルバイトが66.7%、新卒正規社員が64.3%と高かった。さらに、雇用形態ごとの雇用者数は、所属割合の高い新卒正規社員、中途正規社員、パート・アルバイトについては、一施設当たりの平均雇用者数はそれぞれ40.4人、6.4人、10.3人であった。

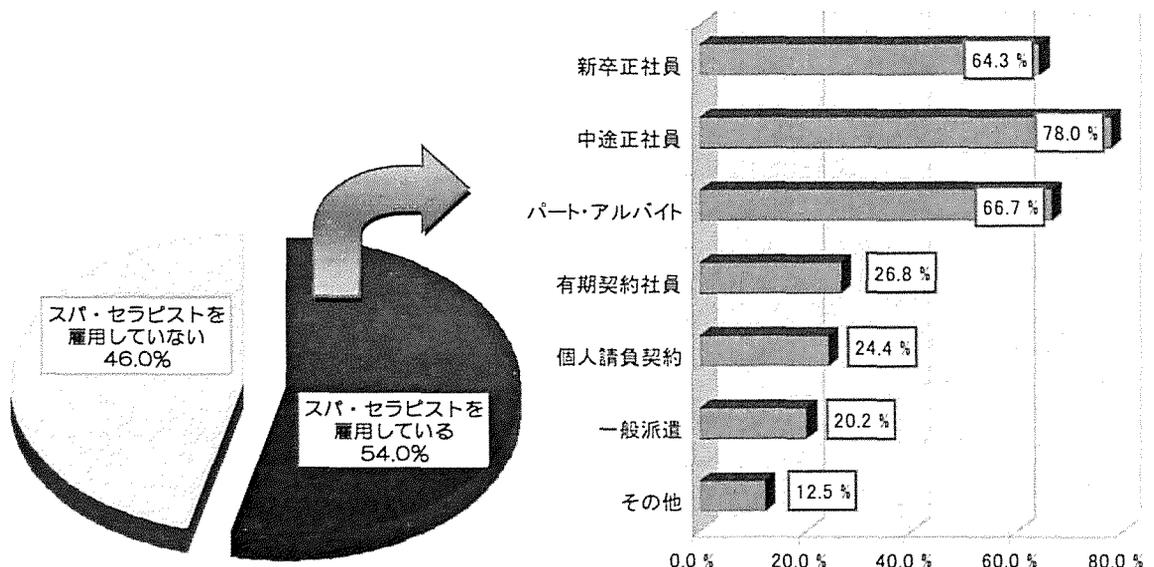
雇用形態ごとに月の平均賃金への回答の平均を比較すると、一般派遣社員の19.0万円が最も高く、次いで中途正規社員の15.8万円であった¹¹。なお、月の平均賃金への回答の最大値は個人請負契約の60.0万円であった。

図表 17 スパ・セラピスト雇用状況と雇用の形態

スパ・セラピスト雇用の有無 (n=311)

スパ・セラピスト雇用の形態【複数回答】 (n=168)

※「スパ・セラピストを雇用している」と回答した177施設が対象



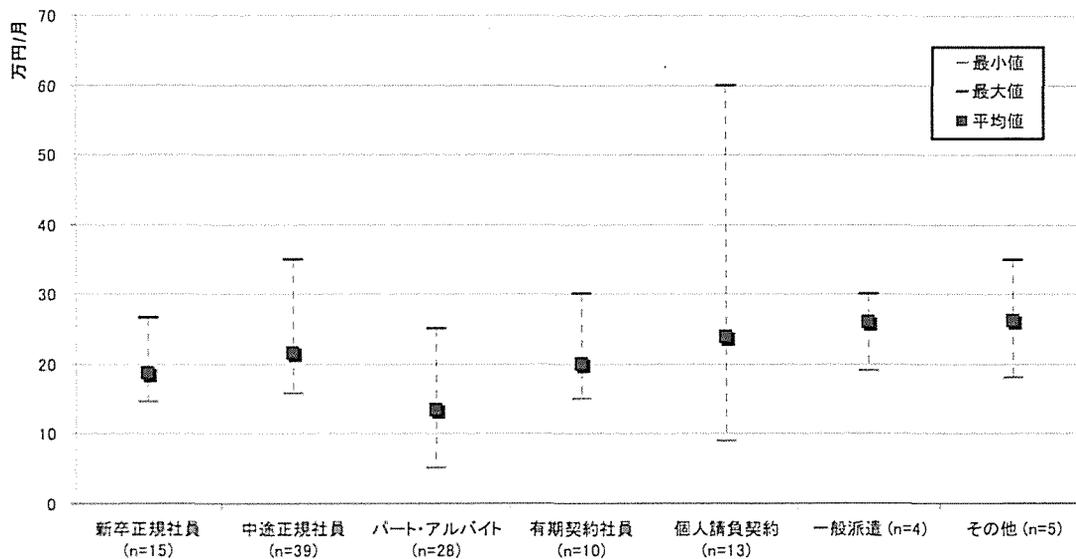
¹¹ ただし、回答件数が僅少であるが、個人請負契約（13件）は平均23.8万円、一般派遣（4件）は平均26万円と、いずれも中途正規社員の平均を上回っている。

図表 18 雇用中のスパ・セラピストの特徴

雇用者数(人)	一施設平均	月の平均賃金(万円/月)	最小値	最大値	平均値
新卒正社員 (n=19)	40.4	新卒正規社員 (n=15)	145,000	265,000	185,533
中途正社員 (n=51)	6.4	中途正規社員 (n=39)	158,000	350,000	215,374
パート・アルバイト (n=37)	10.3	パート・アルバイト (n=28)	50,000	250,000	134,150
有期契約社員 (n=14)	8.4	有期契約社員 (n=10)	150,000	300,000	199,680
個人請負契約 (n=15)	123.1	個人請負契約 (n=13)	90,000	600,000	238,462
一般派遣 (n=5)	9.0	一般派遣 (n=4)	190,000	300,000	260,000
その他 (n=5)	4.2	その他 (n=5)	180,000	350,000	262,000

図表 19 【雇用形態別】スパ・セラピストの平均賃金（月額）

（上から順に最大・平均・最小を表示）



(2) スパ・セラピストの資格保有状況

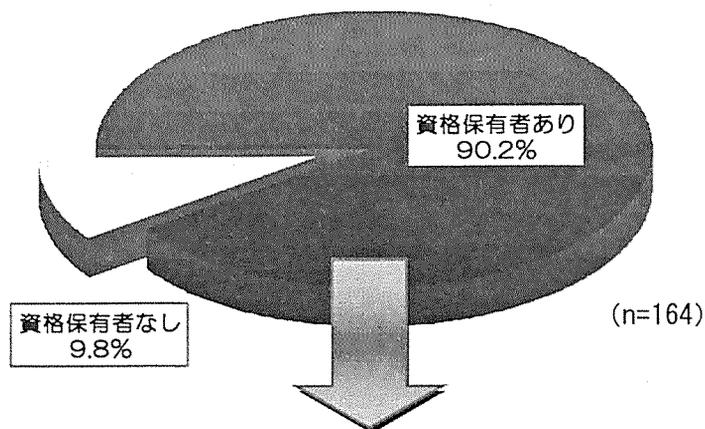
スパ・セラピスト雇用施設に対し、雇用中のスパ・セラピストのうち何らかの資格を保有するスパ・セラピスト（以下、「資格保有セラピスト」と呼ぶ）の有無をたずねたところ、資格保有セラピストを雇用する施設は 164 件（90.2%）であった。また、資格保有セラピストを雇用している施設に対し、その資格保有セラピスト数をたずねたところ、総数は 639 人となった（有効回答 87 施設の合計）。

さらに、資格別に、①資格保有セラピストを雇用する施設に占める各資格を保有するスパ・セラピストを雇用する施設の割合（以下、（資格保有セラピストを雇用する施設における）「雇用率」）、②資格保有セラピスト全体に占める当該資格を保有するスパ・セラピスト数の割合（以下、（資格保有セラピストのうちの）「保有率」）の観点から分析した。

雇用率でみると、最も多くの施設で雇用しているのは「アロマセラピー検定」保有者（58.8%）で、次いで「日本エステティック協会認定エステティシャン」（25.7%）、「アロマセラピスト資格」（24.3%）、「リフレクソロジスト資格」（20.3%）、「CIDESCO」（14.2%）が多かった。

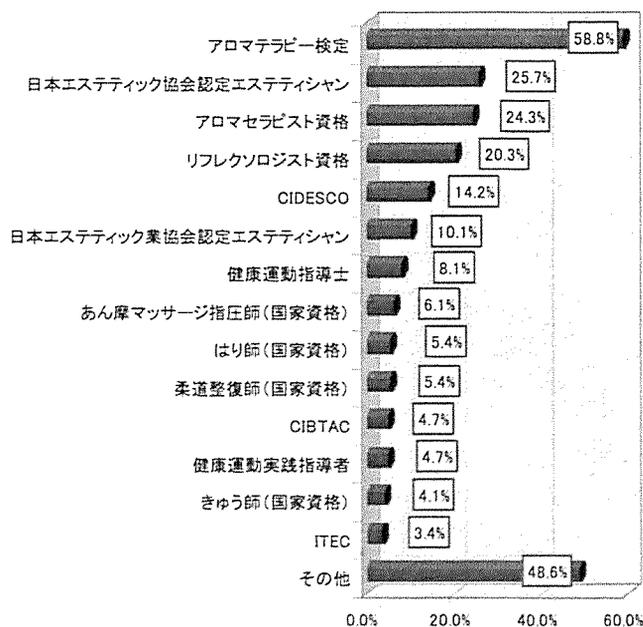
一方、保有率でみると、上位 4 資格は雇用率と同様「日本エステティック業協会認定エステティシャン」(23.9%)、「アロマセラピー検定」(21.4%)、「アロマセラピスト資格」(14.4%)、「日本エステティック協会認定エステティシャン」(14.2%)、「リフレクソロジスト資格」(10.8%)を保有しているスパ・セラピストが多かった。

図表 20 スパ・セラピストの資格取得状況



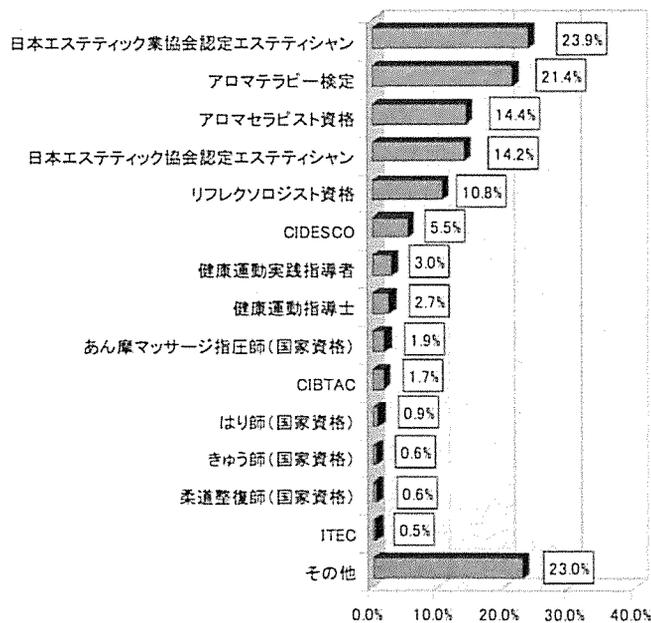
各資格保有スパ・セラピストを雇用する
スパ施設の割合【雇用率】

(n=148) ※「資格保有者あり」と回答した施設



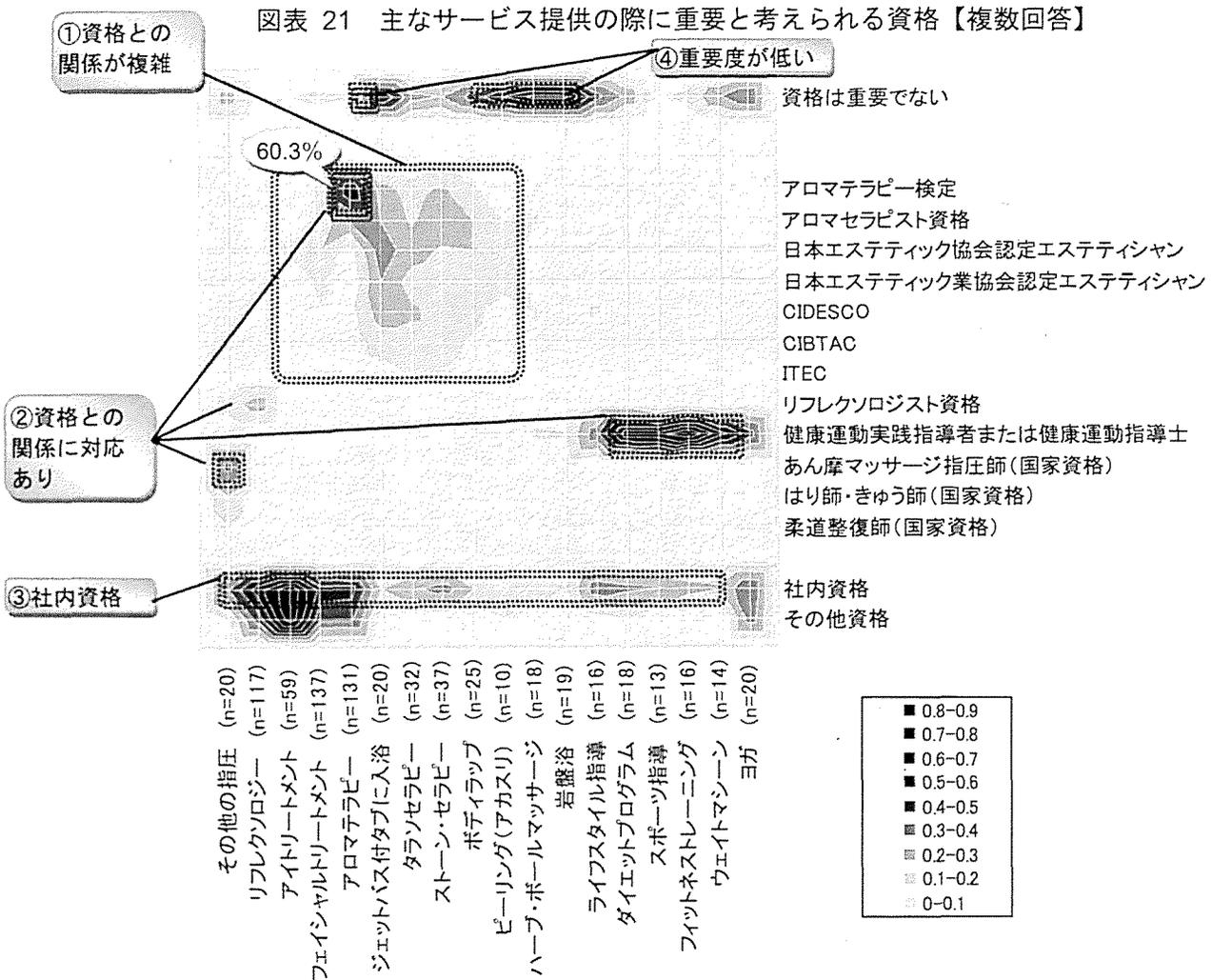
各資格を保有するスパ・セラピスト数の割合
【保有率】

(n=87) ※資格保有スパ・セラピスト総数



(3) サービスを提供する際に重要と考えられている資格

セラピスト雇用施設に対し、現在提供中の各スパ・サービス・メニューをスパ・セラピストが提供する上で、どのような資格や技能検定が重要か（または「資格は重要でない」か）をたずねた。ここでは、現在の提供率が高い上位 20 サービス（P10の図表 12参照）のうち、本設問への回答件数が 10 件以上のスパ・サービス・メニューを取り上げる。図表 21に結果を 10%刻みの等高線で示す¹²。



※【例】「アロマセラピー」を提供する 131 施設のうち、「アロマセラピー検定」が重要という回答が 79 件 (60.3%) のため、該当箇所 (吹き出し箇所) の等高線は 60~70%の区切りになっている

なお、「どのような資格や技能検定が重要か」への回答率の平均が 9.9%であることから、ここでは回答率が 10%以上である場合に「重要と考えられている」とする。

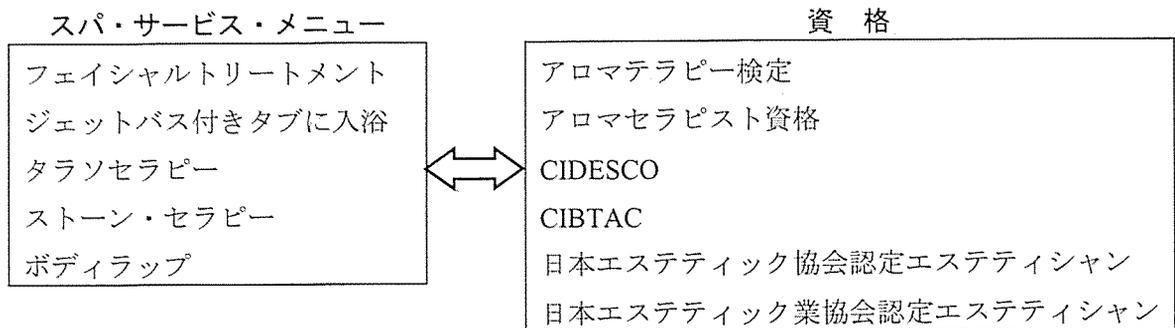
¹² 横軸：現在提供中の上位 20 スパ・サービス・メニュー（うち、n≥10）※順不同

高度：横軸のスパ・サービス・メニューごとに、縦軸の資格のうち重要だと考える資格を複数回答で選択した場合の回答率

① 資格との関係が複雑

関係性が複雑な場合として、重要と考えられている資格とスパ・サービス・メニューの関係が多対多¹³となっている場合を取り上げる（図表 22）。

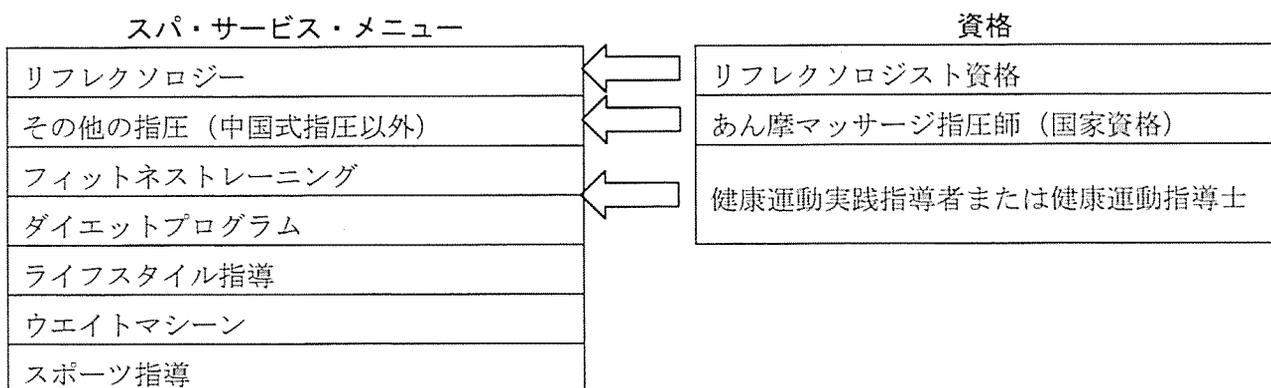
図表 22 関係が多対多となるケース



② 資格との関係に対応あり

重要と考えられている資格に対応が見られる場合として、資格とスパ・サービス・メニューが一对一（多）の関係となっている場合を取り上げる（図表 23）。ここでは、回答率 30%以上の場合を「重要と考えられている」としている。

図表 23 関係が一对一（多）となる主なケース



なお、一对多ではないが、アロマセラピーは、①で取り上げているアロマセラピー検定（60.3%）、アロマセラピスト資格（31.3%）が多く、サービス側からは対応が見られる。

③ 社内資格

既存資格以外の社内資格も、多くのスパ・サービス・メニューで重要と考えられている。

④ 資格の重要度が比較的低い

「資格は重要でない」が 60%以上のスパ・サービス・メニューを見ると、該当するのは「岩盤浴」、「ハーブボルトリートメント」、「ジェットバス付きタブに入浴」、「ピーリング（アカスリ）」の 4 種類であった。

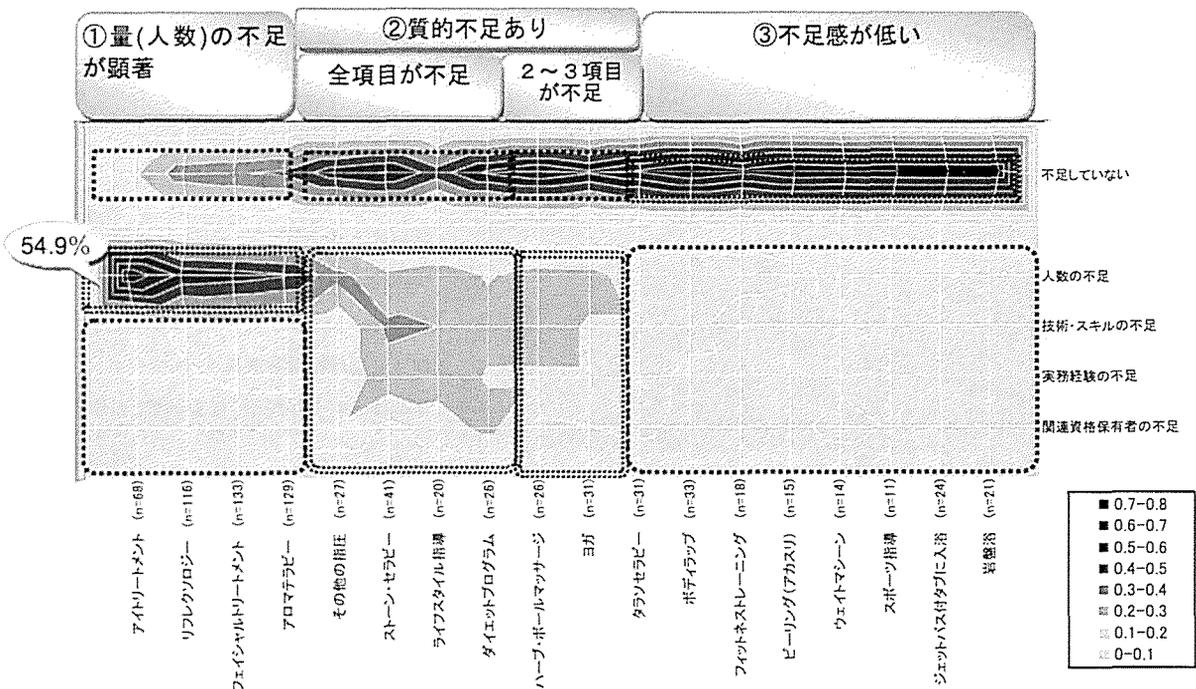
¹³ あるスパ・サービス・メニューAにとって重要と考えられている資格が複数あり、かつそれらの資格が重要と考えられているスパ・サービス・メニューBが存在している場合

(4) スパ・セラピスト人材の不足感

セラピスト雇用施設に対し、現在提供中の各スパ・サービス・メニューを提供するスパ・セラピスト人材の不足感をたずねた。ここでは、現在の提供率が高い上位 20 サービス（P10の図表 12参照）のうち、本設問への回答件数が 10 件以上のスパ・サービス・メニューを取り上げる。まず、人材の不足感の有無と不足している場合の不足内容（A 人数 B スキル C 経験 D 資格保有者）についての回答結果¹⁴を図表 24に結果を 10%刻みの等高線で示す¹⁵。

なお、不足内容に関する回答率の平均が 6.7%であることから（本項の脚注参照）、以降では回答率が 10%以上である場合に「（A～D）が不足している」として分析を行う。

図表 24 スパ・セラピスト人材の不足感【複数回答】



※【例】「フェイシャルトリートメント」を提供する 133 施設のうち、「人数の不足」と考えている施設が 73 件 (54.9%) のため、該当箇所（吹き出し箇所）の等高線は 50～60%の区切りになっている。

① 量（人数）の不足が顕著

「アイトリートメント」、「リフレクソロジー」、「フェイシャルトリートメント」、「アロマセラピー」については、A 人数の不足感が顕著に見られた。

¹⁴ 設問は後述の図表 25の縦軸も含めた質問項目からなっており、その項目を含めた回答率の平均値は 6.7%。

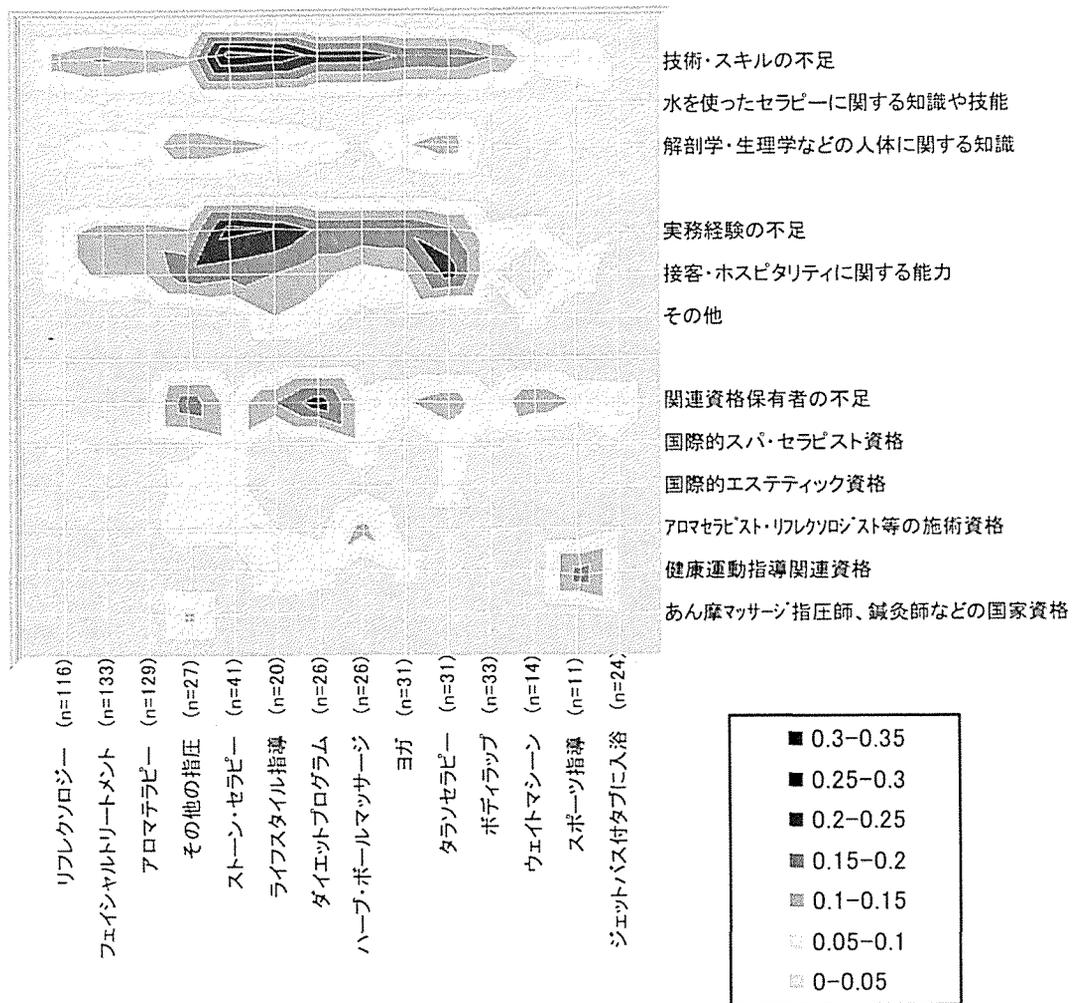
¹⁵ 横軸：現在提供中の上位 20 スパ・サービス・メニュー（うち、n≥10）※順不同

高度：横軸のスパ・サービス・メニューごとに、縦軸にある人材不足内容を複数回答で選択（該当なしの場合は「不足していない」）した場合の回答率

② 質的不足あり

人数の不足感以外の質的な不足感（B スキル、C 経験、D 資格保有者）が比較的多く見られるスパ・サービス・メニューについて、不足感の詳細を含めた回答結果を 5%刻みの等高線で示す¹⁶（図表 25）。

図表 25 スパ・セラピスト人材の不足感（質的不足の詳細）【複数回答】



まず、A～D の全項目で不足が見られるスパ・サービス・メニューを以下に挙げる。

図表 26 人材の質・量が全方位的に不足しているスパ・サービス・メニュー

その他の指圧

¹⁶ 横軸：現在提供中の上位 20 スパ・サービス・メニュー（うち、n≥10）かつ、図表 24において B スキル C 経験 D 資格保有者のうち一つ以上の不足が見られるスパ・サービス・メニュー※順不同
 高度：横軸のスパ・サービス・メニューごとに、縦軸にある人材不足感の詳細を複数回答で選択した場合の回答率

次に、全項目ではないが複数項目で不足感が見られるスパ・サービス・メニューを以下に挙げる。

図表 27 人材の質の不足が見られるスパ・サービス・メニュー

タラソセラピー	ダイエットプログラム
アロマセラピー	フェイシャルトリートメント

③ 不足感が低い

「不足していない」という回答が 80%以上であるスパ・サービス・メニューを見ると、該当するのは「岩盤浴」、「ジェットバス付きタブに入浴」、「ボディラップ」、「スポーツ指導」、「ピーリング（アカスリ）」の 5 種類であった。

3. スパ・サービス産業の成長性（店舗拡大意向/スパ・セラピスト新規雇用意向）

（1）店舗拡大意向

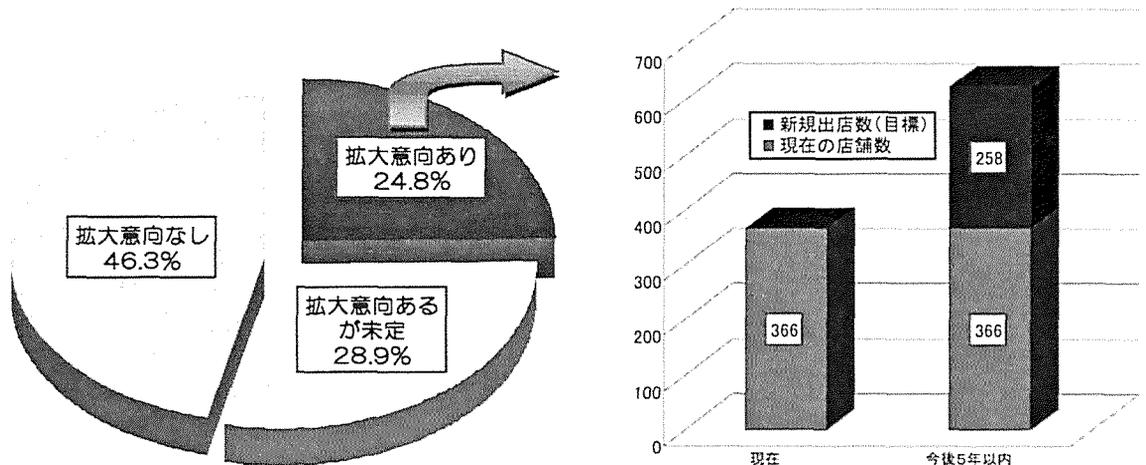
スパ施設（298 施設）に対し、店舗の拡大意向をたずねたところ、「拡大意向あり」、「拡大意向あるが未定」を合わせて過半数（53.7%）が拡大意向を有していた。また、「拡大意向あり」と回答した 74 施設に対して、今後 5 年以内の新規出店数の目標をたずねた。回答施設 18 件を合計すると、今後 5 年以内の店舗拡大意向の目標は 258 施設であった。

図表 28 今後 5 年以内の店舗拡大意向

店舗拡大意向 (n=298)

今後 5 年以内の新規出店数の目標 (n=103)

※「拡大意向あり」と回答した 74 施設のうち、回答のあった 18 件の合計



5 年後、現在の意向通りに店舗数が拡大し、かつ現在の店舗はすべて継続して営業を続けていると仮定した場合、回答施設から算出される 5 年後のスパ施設は 569 施設となる。

さらに、潜在市場全体（3,011 事業所）のうち「スパ・サービスを提供している」事業所の割合が 47.7%であると仮定した場合、スパ・サービス産業の 5 年後のスパ施設数を推計¹⁷すると、約 2,628 施設となる。

¹⁷スパ・サービス提供事業所数 311 件（=回答全体 [652 件] の 47.7%）、潜在市場全体 3,011 件から下記のように推計

$$569 \text{ [施設]} \times (3,011 \text{ [件]} \times 47.7 \text{ [%]}) \div (311 \text{ [件]}) = 2627.73 \text{ [施設]}$$

(2) スパ・セラピスト新規雇用意向

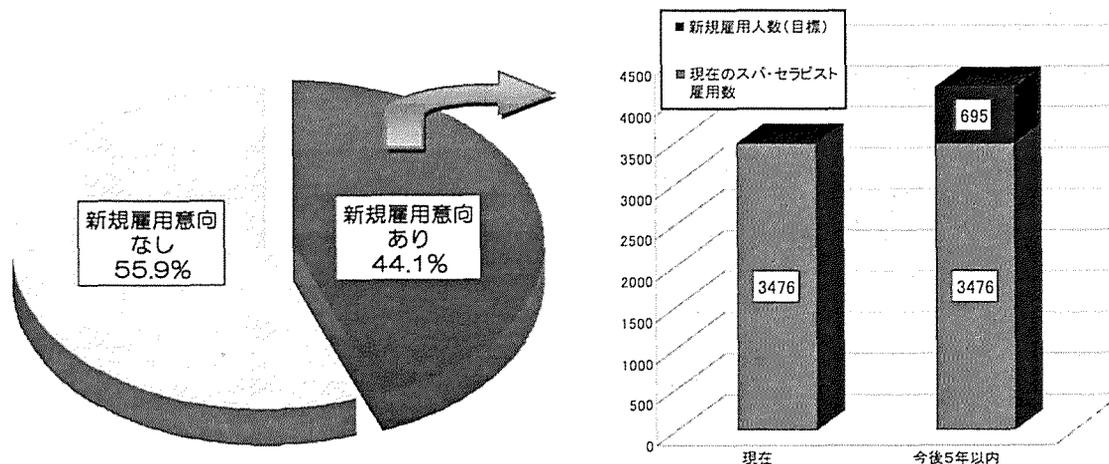
スパ施設 (311 施設) に対し、スパ・セラピストの新規雇用意向についてたずねたところ、「新規雇用意向あり」と回答したスパ施設が 137 件 (44.1%) であった。さらに、137 施設に対して、今後 5 年以内の新規雇用者数の目標をたずねた。回答施設 71 件を合計すると、今後 5 年以内の新規雇用者数の目標は 695 人であった。

図表 29 今後 5 年以内のスパ・セラピスト新規雇用意向

スパ・セラピスト新規意向 (n=311)

今後 5 年以内の新規雇用者数の目標 (n=137)

※「新規雇用意向あり」と回答した 137 施設のうち、回答のあった 71 件の合計



5 年後、現在の意向通りにスパ・セラピストが新規雇用され、かつ現在雇用中のスパ・セラピスト 3,476 人 (P14参照) がすべて継続して雇用されていると仮定した場合、5 年後のスパ施設では 4,171 人のスパ・セラピストが雇用されることが回答結果から算出される。

さらに、潜在市場全体 (3,011 事業所) のうち「スパ・サービスを提供している」事業所の割合が 47.7% であると仮定した場合、スパ・サービス産業の 5 年後のスパ・セラピスト数を推計¹⁸すると、約 19,262 人となる。

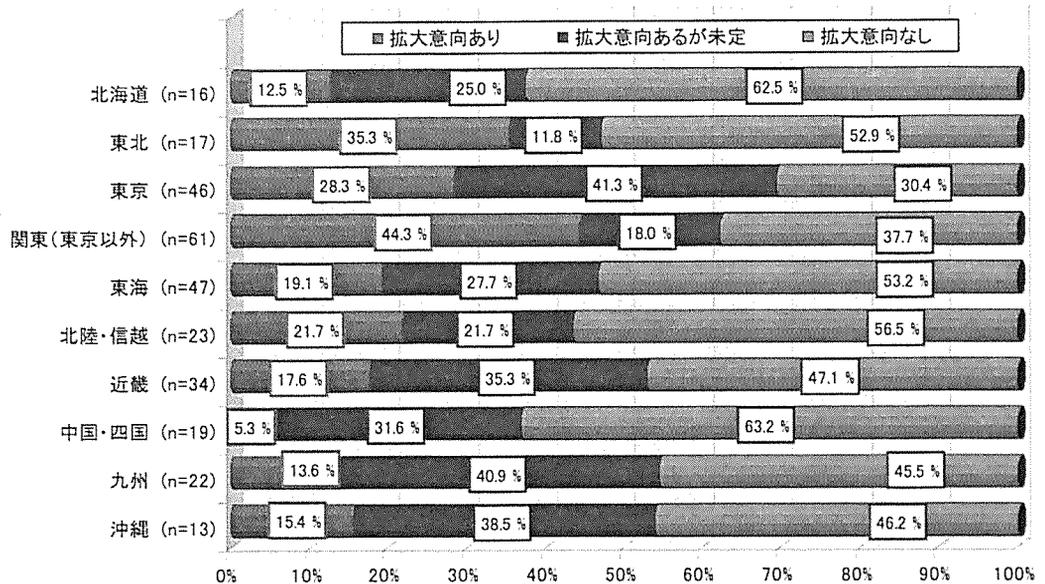
¹⁸スパ・サービス提供事業所数 311 件 (=回答全体 [652 件] の 47.7%)、潜在市場全体 3,011 件から下記のように推計

$$4,171 \text{ [人]} \times (3,011 \text{ [件]} \times 47.7 \text{ [%]}) \div (311 \text{ [件]}) = 19,262.34 \text{ [人]}$$

(3) 地域別の意向

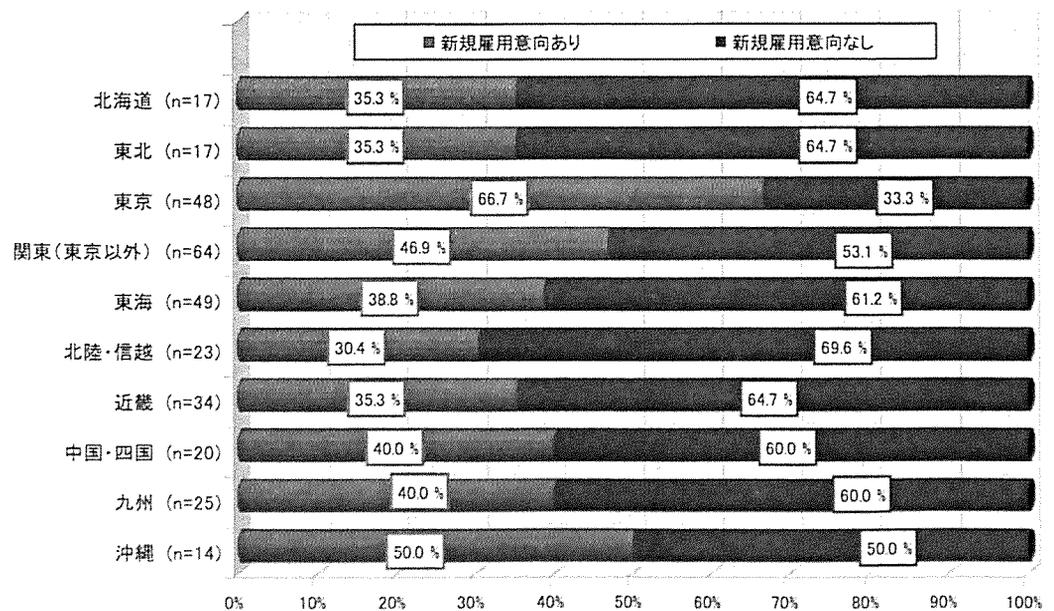
店舗数の「拡大意向あり」という回答は、関東（東京以外）（44.3%）で最も多く、次いで東北（35.3%）で多かった。「拡大意向あるが未定」も合わせた拡大意向でみると、東京（69.6%）が最も多く、次いで関東（東京以外）（62.3%）で多かった。

図表 30 今後5年以内の店舗拡大意向【地域別】



スパ・セラピストの「新規雇用意向あり」という回答の割合は、東京（66.7%）で最も多く、次いで沖縄（50.0%）で多かった。

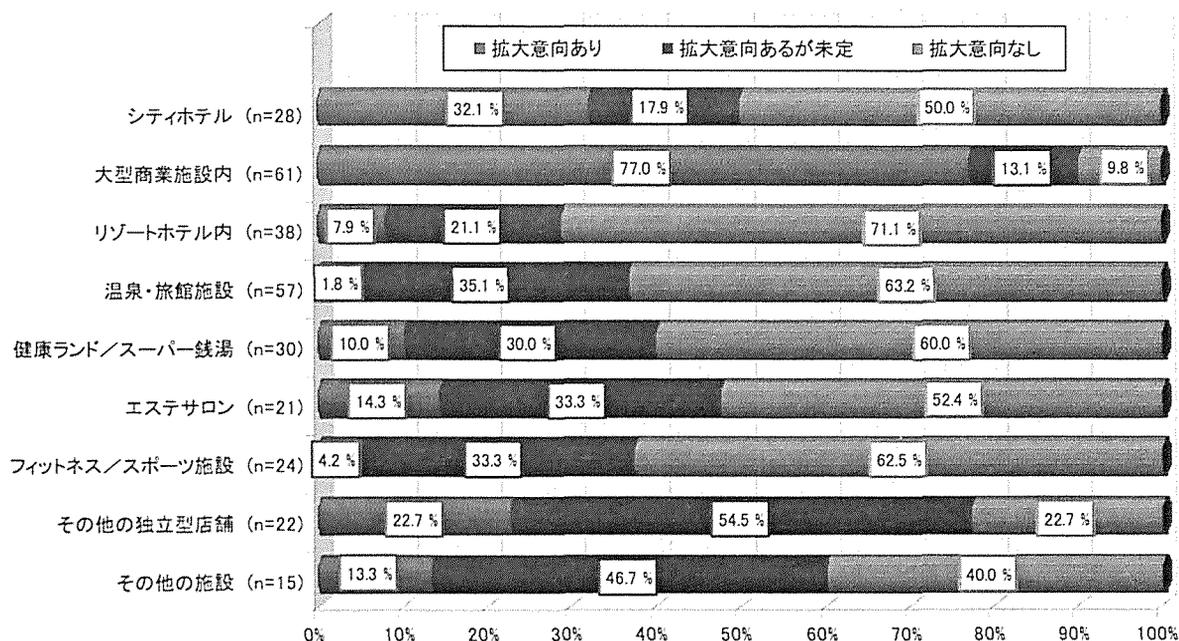
図表 31 今後5年以内のスパ・セラピスト新規雇用意向【地域別】



(4) 施設形態別の意向

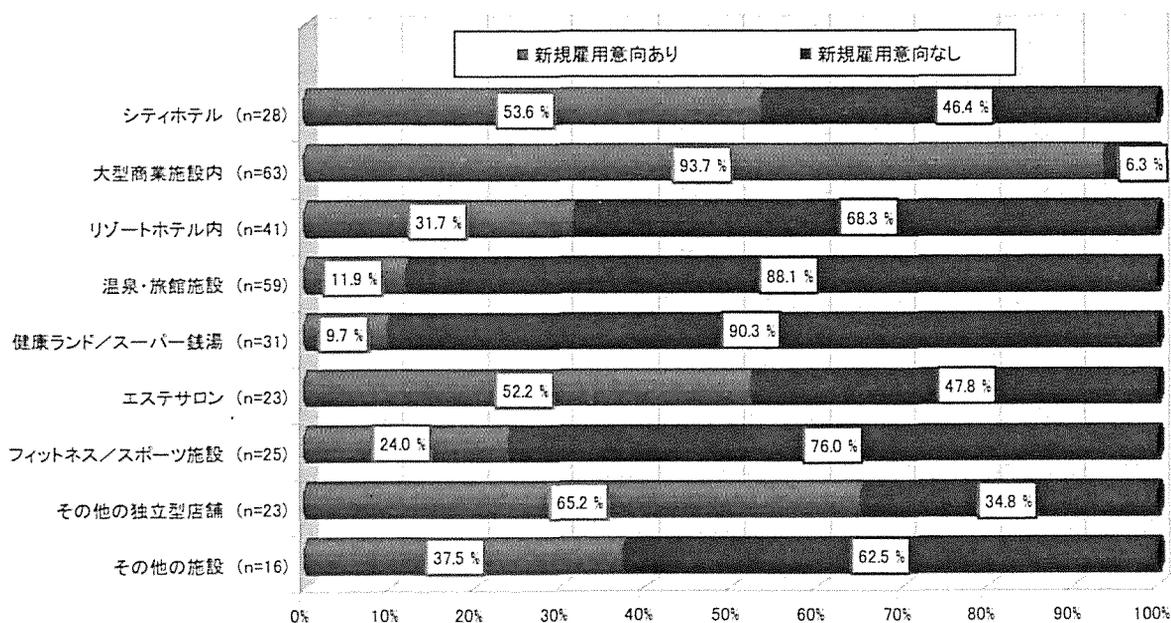
店舗数の拡大意向については、大型商業施設内で最も意向が高く、次いでシティホテルでの意向が高かった。

図表 32 今後5年以内の店舗拡大意向【施設形態別】



スパ・セラピストの「新規雇用意向あり」については、大型商業施設内 (93.7%) で最も多く、次いでその他の独立型店舗 (65.2%) で多かった。

図表 33 今後5年以内のスパ・セラピスト新規雇用意向【施設形態別】



なお、施設形態別の動向については、次節で詳細に分析を行う。

4. 施設形態別分析

本節では、スパ施設の形態ごとにサービス内容や顧客層、セラピスト人材が異なる点に着目し、P4の図表3で示したスパ施設の形態ごとに顧客層、スパ・サービスの提供内容、スパ・セラピストの雇用状況・資格保有状況、外国人受入れ意向について整理した。ただし、本節においては昨年度、一昨年度結果との比較の観点から、掲載順を下記の通りとする。

- (1) シティホテル
- (2) リゾートホテル
- (3) 大型商業施設内
- (4) エステサロン
- (5) 健康ランド／スーパー銭湯
- (6) 温泉・旅館施設
- (7) フィットネス／スポーツ施設
- (8) その他の施設

今年度調査における施設形態別分析に関する全体的な特徴を下図に示し、次節以降で施設形態ごとの分析結果を示す。なお、今年度の図表については、昨年度と比較して傾向の大きく変わらない箇所を下線で示している。

図表 34 【参考】施設形態による主な特徴（平成19年度調査）

施設形態	シティホテル	リゾートホテル	大型商業施設内	エステサロン	健康ランド／スーパー銭湯	温泉・旅館施設	フィットネス／スポーツ施設
主な顧客ターゲット	30～50代・やや女性中心		30代・男女問わず	30～40代・女性中心	40～60代・男女問わず		30～50代・男女問わず
主なサービスメニュー	<ul style="list-style-type: none"> ・アロマセラピー ・フェイシャルトリートメント ・リフレクソロジー 				<ul style="list-style-type: none"> ・その他の指圧 ・ピーリング ・岩盤浴 ・フェイシャルトリートメント 	<ul style="list-style-type: none"> ・その他の指圧 ・フェイシャルトリートメント ・アロマセラピー ・リフレクソロジー 	<ul style="list-style-type: none"> ・エアロビクス ・フィットネス ・ダイエットプログラム ・ヨガ
主なセラピスト保有資格（※）	<ul style="list-style-type: none"> ・アロマセラピー検定/アロマセラピスト ・リフレクソロジスト資格 ・日本エステティック協会認定エステティシャン 		<ul style="list-style-type: none"> ・リフレクソロジスト資格 ・アロマセラピー検定 ・あん摩マッサージ指圧師 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本エステティック協会認定エステティシャン ・アロマセラピー検定 ・アロマセラピスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・アロマセラピー検定/アロマセラピスト 		<ul style="list-style-type: none"> ・アロマセラピー検定/アロマセラピスト ・健康運動指導士 ・リフレクソロジスト資格
セラピスト雇用率	31.8%	47.1%	91.0%	80.0%	2.4%	16.4%	33.3%
雇用者数（一施設平均）	13.3人	6.0人	6.9人	5.2人	9.0人	6.0人	9.6人
新規雇用予定（一施設平均）	10.0人	6.9人	7.7人	2.8人	6.0人	3.5人	20.3人

（出典）経済産業省 平成19年度「スパ・サービス産業の発展に向けた現状と課題に関する調査研究」報告書
今年度結果と比較可能にするため、数値等については一部詳細表示を行なっている。

図表 35 施設形態による主な特徴（平成 20 年度調査）

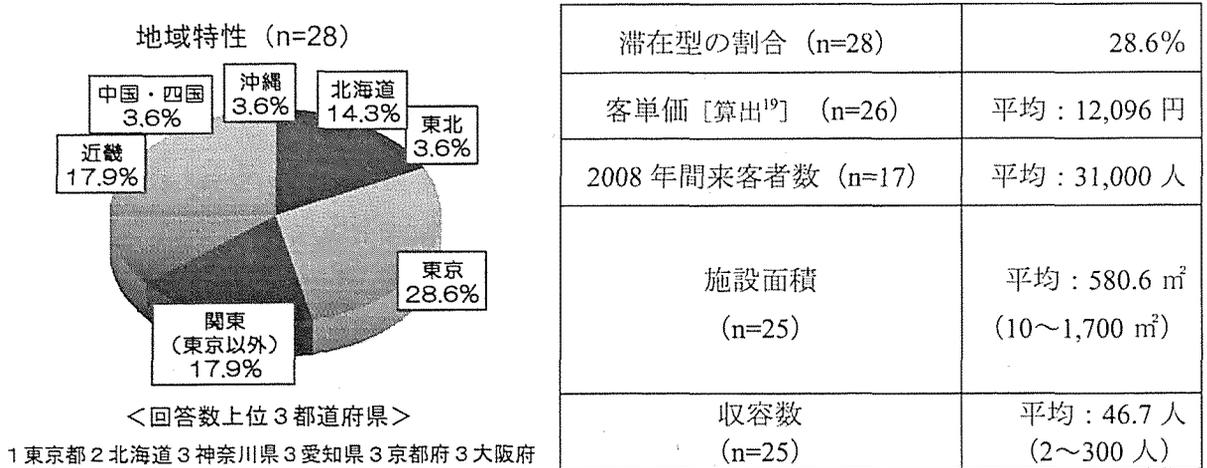
施設形態	シティ ホテル	リゾート ホテル	大型商業 施設内	エステ サロン	健康ランド 入浴・銭湯	温泉・旅館 施設	フィットネス クラブ施設
主な顧客 ターゲット	30～50代・やや女性中心		30代・ 女性中心	30～40代・ 女性中心	40～60代・ 男女問わず		30～50代・ 男女問わず
主な サービス メニュー	<ul style="list-style-type: none"> ・フェイシャルトリートメント ・アロマセラピー ・リフレクソロジー 				<ul style="list-style-type: none"> ・その他の指圧 ・フェイシャルトリートメント ・ピーリング ・リフレクソロジー 	<ul style="list-style-type: none"> ・フェイシャルトリートメント ・アロマセラピー ・その他の指圧 ・リフレクソロジー 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨガ ・フィットネス ・ウェイトマシーン ・エアロバイク
主な セラピスト 保有資格 (※)	<ul style="list-style-type: none"> ・アロマセラピー検定/アロマセラピスト ・日本エステティック協会 認定エステティシャン ・CIDESCO 		<ul style="list-style-type: none"> ・アロマセラピー検定 ・リフレクソリスト資格 ・日本エステティック協会 認定エステティシャン 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本エステティック協会 認定エステティシャン ・アロマセラピー検定 ・アロマセラピスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・アロマセラピー検定 ・アロマセラピスト ・あん摩マッサージ 指圧師 	<ul style="list-style-type: none"> ・アロマセラピー検定 ・アロマセラピスト ・リフレクソロジ スト資格 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康運動指導士 ・健康運動実践指 導者 ・アロマセラピスト資格
セラピスト 雇用率	64.3%	53.7%	92.1%	65.2%	16.1%	23.7%	32.0%
雇業者数 (一施設平均)	7.9人	6.5人	9.7人	134.7 人	14.5人	5.3人	27.7人
新規雇用予定 (一施設平均)	4.0人	4.6人	8.3人	4.1人	10.0人	2.6人	11.2人

※主なセラピスト保有資格は、「資格保有者を雇用している施設が多い」または「資格を保有するスパ・セラピストが多い」資格

(1) シティホテル

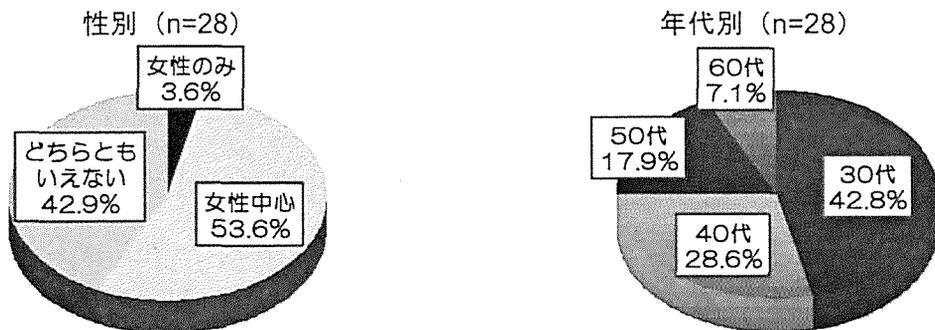
シティホテルに分類したスパ施設（回答施設数 28 件）の特徴を図表 36に示す。

図表 36 【シティホテル】施設の特徴



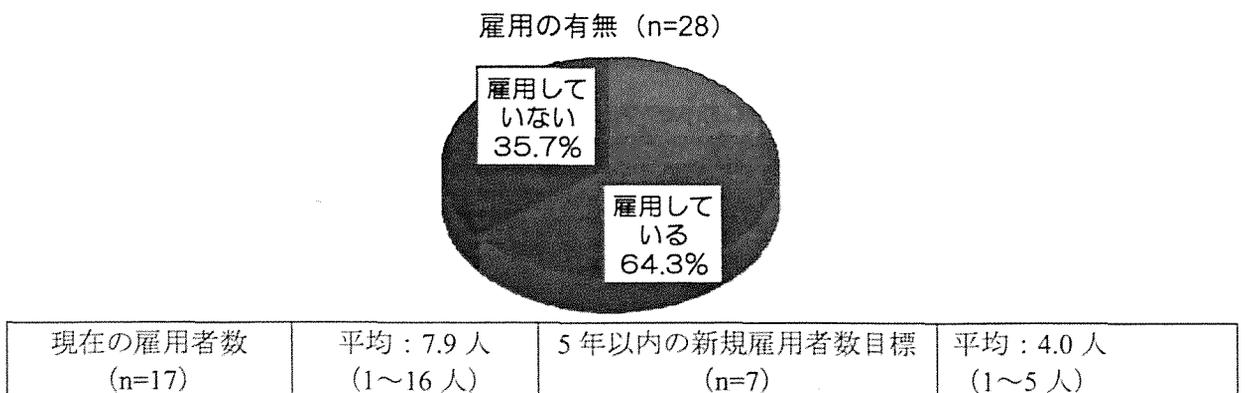
シティホテルの顧客ターゲットを図表 37に示す。性別で見ると「女性中心」が 53.6%と最も多い。年代別で見ると、「30代」が 42.8%と最も多い。

図表 37 【シティホテル】顧客ターゲット



シティホテルにおいては、施設の 64.3% (18 件) でスパ・セラピストの雇用がみられ、一施設平均 7.9 人を雇用している (最小 1 人、最大 16 人)。

図表 38 【シティホテル】スパ・セラピストの雇用状況



¹⁹⁾ 算出方法は、P7の脚注4を参照のこと (以下、同様)

シティホテルにおいて現在提供中と回答した割合の最も高いスパ・サービス・メニューは「フェイシャルトリートメント」と「アロマセラピー」であった。また、今後の提供・注力意向については「ネイル・スパ」が最も回答の割合が高かった。

図表 39 【シティホテル】スパ・サービス・メニュー：トップ5

現在提供中 (n=28)			今後提供・注力意向あり (n=28)		
rank	サービス・メニュー	回答率	rank	サービス・メニュー	回答率
1	フェイシャルトリートメント	75.0%	1	ネイル・スパ	25.0%
1	アロマセラピー	75.0%	2	フェイシャルトリートメント	14.3%
3	リフレクソロジー	50.0%	2	アロマセラピー	14.3%
4	その他の指圧	32.1%	4	スウェディッシュ	10.7%
4	アイトリートメント	32.1%	4	その他の指圧	10.7%
			4	ストーン・セラピー	10.7%
			4	ヨガ	10.7%
			4	フィットネストレーニング	10.7%

※その他の回答は除く

スパ・セラピストの雇用が見られるシティホテル 18 件のうち、何らかの資格を保有するスパ・セラピストを雇用している施設の割合は 100.0% (18 件) であった。また、資格を保有するスパ・セラピストの人数は 77 人であった。

何らかの資格を保有するスパ・セラピストを雇用している 18 施設において、最も多くの施設で保有者がみられた資格は「アロマセラピー検定」(61.1%) であった。また、資格保有者 77 人のうち、最も保有者の多い資格も「アロマセラピー検定」(32.5%) であった。

図表 40 【シティホテル】資格保有状況：トップ5

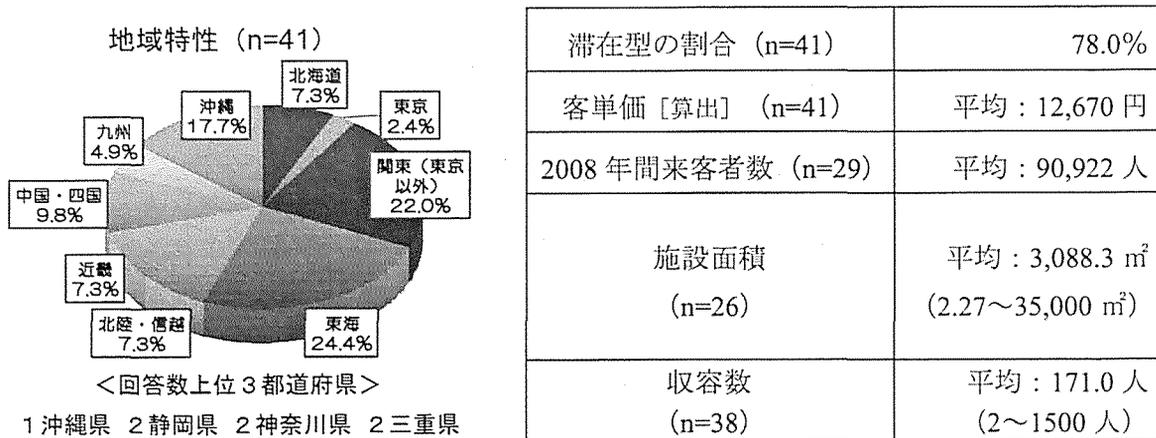
資格保有者を雇用している施設が多い資格			資格を保有するスパ・セラピストが多い資格		
rank	サービス・メニュー	回答率	rank	サービス・メニュー	回答率
1	アロマセラピー検定	61.1%	1	アロマセラピー検定	32.5%
2	CIDESCO	22.2%	2	CIDESCO	19.5%
2	アロマセラピスト資格	22.2%	3	アロマセラピスト資格	18.2%
2	日本エステティック協会 認定エステティシャン	22.2%	4	日本エステティック協会 認定エステティシャン	13.0%
5	リフレクソジスト資格	11.1%	5	あん摩マッサージ指圧師 (国家資格)	3.9%
			5	はり師 (国家資格)	3.9%
			5	きゅう師 (国家資格)	3.9%

※その他の回答は除く

(2) リゾートホテル

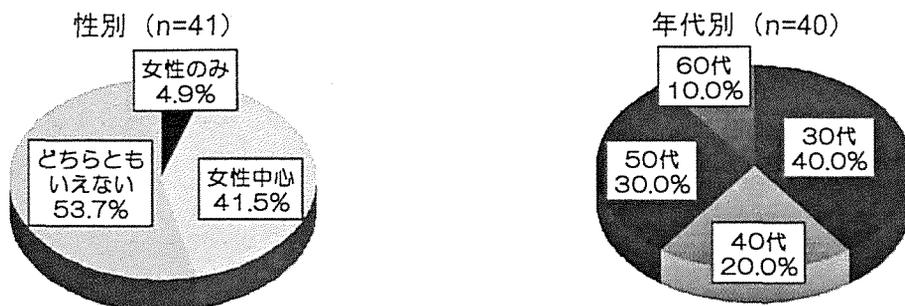
リゾートホテルに分類したスパ施設（回答施設数 41 件）の特徴を図表 41に示す。

図表 41 【リゾートホテル】施設の特徴



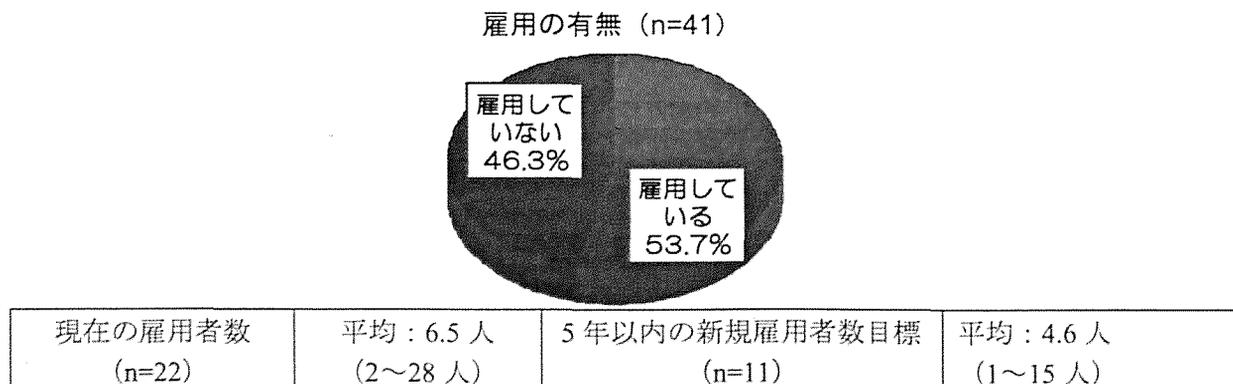
リゾートホテルの顧客ターゲットを図表 42に示す。性別でみると「どちらともいえない」が 53.7%と最も多い。年代別でみると、「30代」が 40.0%と最も多い。

図表 42 【リゾートホテル】顧客ターゲット



リゾートホテルにおいては、施設の 53.7% (22 件) でスパ・セラピストの雇用がみられ、一施設平均 6.5 人を雇用している (最小 2 人、最大 28 人)。

図表 43 【リゾートホテル】スパ・セラピストの雇用状況



リゾートホテルにおいて現在提供中と回答した割合の最も高いスパ・サービス・メニューは「フェイシャルトリートメント」であった。また、今後の提供・注力意向については「ネイル・スパ」が最も回答の割合が高かった。

図表 44 【リゾートホテル】スパ・サービス・メニュー：トップ5

現在提供中 (n=41)			今後提供・注力意向あり (n=41)		
rank	サービス・メニュー	回答率	rank	サービス・メニュー	回答率
1	フェイシャルトリートメント	78.0%	1	ネイル・スパ	22.0%
2	アロマセラピー	61.0%	2	タイ古式マッサージ	14.6%
3	リフレクソロジー	48.8%	2	ハーブ・ボールマッサージ	14.6%
4	ジェットバス付タブに入浴	34.1%	2	アロマセラピー	14.6%
5	ストーン・セラピー	31.7%	2	アーユルヴェーダ	14.6%
			2	ヨガ	14.6%
			2	ダイエットプログラム	14.6%

※その他の回答は除く

スパ・セラピストの雇用が見られるリゾートホテル22件のうち、何らかの資格を保有するスパ・セラピストを雇用している施設の割合は77.3%（17件）であった。また、資格を保有するスパ・セラピストの人数は128人であった。

何らかの資格を保有するスパ・セラピストを雇用している17施設において、最も多くの施設で保有者がみられた資格は「アロマセラピー検定」、「日本エステティック協会認定エステティシャン」（それぞれ52.9%）であった。また、資格保有者128人のうち、最も保有者の多い資格も「アロマセラピー検定」（35.2%）であった。

図表 45 【リゾートホテル】資格保有状況：トップ5

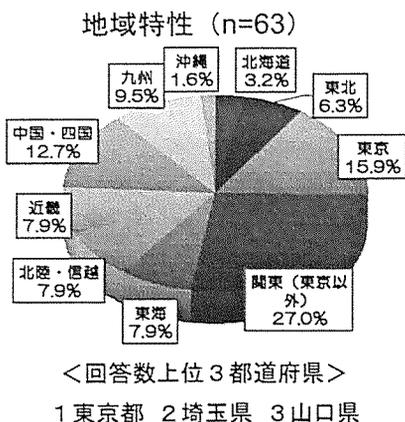
資格保有者を雇用している施設が多い資格			資格を保有するスパ・セラピストが多い資格		
rank	サービス・メニュー	回答率	rank	サービス・メニュー	回答率
1	アロマセラピー検定	52.9%	1	アロマセラピー検定	35.2%
1	日本エステティック協会 認定エステティシャン	52.9%	2	日本エステティック業協会 認定エステティシャン	31.3%
3	アロマセラピスト資格	29.4%	3	日本エステティック協会 認定エステティシャン	24.2%
4	CIDESCO	23.5%	4	リフレクソロジスト資格	7.0%
5	リフレクソロジスト資格	17.6%	4	アロマセラピスト資格	7.0%
5	日本エステティック業協会 認定エステティシャン	17.6%			

※その他の回答は除く

(3) 大型商業施設内

大型商業施設内に分類したスパ施設（回答施設数 63 件）の特徴を図表 46に示す。

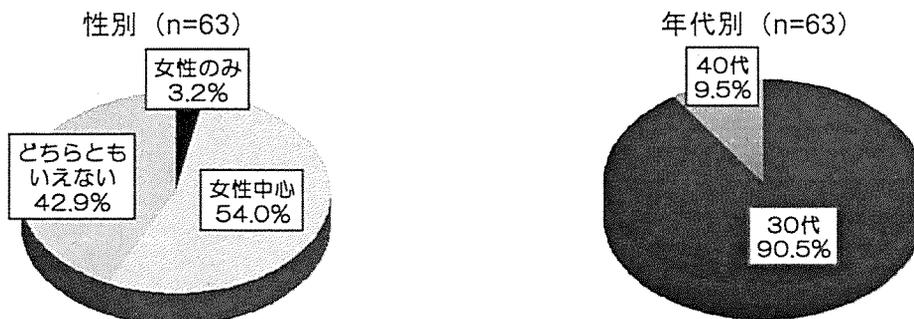
図表 46 【大型商業施設内】施設の特徴



滞在型の割合 (n=63)	0.0%
客単価 [算出] (n=63)	平均：4,571 円
2008 年間来客者数 (n=15)	平均：60,034 人
施設面積 (n=56)	平均：78.6 m ² (14~600 m ²)
収容数 (n=59)	平均：91.6 人 (2~5,000 人)

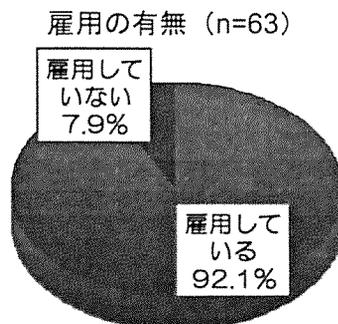
大型商業施設内の顧客ターゲットを図表 47に示す。性別で見ると「女性中心」が 54.0%と最も多い。年代別で見ると、「30代」が 90.5%と最も多い。

図表 47 【大型商業施設内】顧客ターゲット



大型商業施設内においては、施設の 92.1% (58 件) でスパ・セラピストの雇用がみられ、一施設平均 9.7 人を雇用している (最小 2 人、最大 150 人)。

図表 48 【大型商業施設内】スパ・セラピストの雇用状況



現在の雇用者数 (n=56)	平均：9.7 人 (2~150 人)	5 年以内の新規雇用者数目標 (n=13)	平均：8.3 人 (1~60 人)
----------------	-----------------------	-----------------------	----------------------

大型商業施設内において現在提供中と回答した割合の最も高いスパ・サービス・メニューは「リフレクソロジー」であった。また、今後の提供・注力意向についても「リフレクソロジー」が最も回答の割合が高かった。

図表 49 【大型商業施設内】スパ・サービス・メニュー：トップ5

現在提供中 (n=63)			今後提供・注力意向あり (n=63)		
rank	サービス・メニュー	回答率	rank	サービス・メニュー	回答率
1	リフレクソロジー	96.8%	1	リフレクソロジー	6.3%
2	フェイシャルトリートメント	81.0%	2	アロマセラピー	4.8%
3	アロマセラピー	79.4%	3	スウェディッシュユマッサージ	3.2%
4	アイトリートメント	66.7%	3	その他の指圧	3.2%
5	ゲルマニウム温浴	12.7%	3	フェイシャルトリートメント	3.2%
			3	ネイル・スパ	3.2%
			3	ヨガ	3.2%
			3	瞑想	3.2%

※その他の回答は除く

スパ・セラピストの雇用が見られる大型商業施設内のスパ施設 58 件のうち、何らかの資格を保有するスパ・セラピストを雇用している施設の割合は 91.4% (53 件) であった。また、資格を保有するスパ・セラピストの人数は 51 人であった。

何らかの資格を保有するスパ・セラピストを雇用している 53 施設において、最も多くの施設で保有者がみられた資格は「アロマセラピー検定」(86.8%) であった。また、資格保有者 51 人のうち、最も保有者の多い資格は「リフレクソロジスト資格」(29.4%) であった。

図表 50 【大型商業施設内】資格保有状況：トップ5

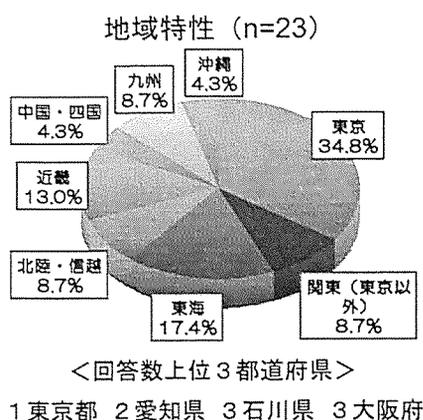
資格保有者を雇用している施設が多い資格			資格を保有するスパ・セラピストが多い資格		
rank	サービス・メニュー	回答率	rank	サービス・メニュー	回答率
1	アロマセラピー検定	86.8%	1	リフレクソロジスト資格	29.4%
2	リフレクソロジスト資格	13.2%	2	アロマセラピー検定	15.7%
3	日本エステティック協会 認定エステティシャン	11.3%	3	アロマセラピスト資格	13.7%
4	アロマセラピスト資格	7.5%	4	日本エステティック協会 認定エステティシャン	11.8%
5	日本エステティック業協会 認定エステティシャン	5.7%	5	日本エステティック業協会 認定エステティシャン	3.9%

※その他の回答は除く

(4) エステサロン

エステサロンに分類したスパ施設（回答施設数 23 件）の特徴を図表 52 に示す。

図表 51 【エステサロン】施設の特徴



滞在型の割合 (n=23)	4.3%
客単価 [算出] (n=23)	平均：11,239 円
2008 年間来客者数 (n=15)	平均：2,329 人
施設面積 (n=21)	平均：125.4 m ² (5~446 m ²)
収容数 (n=22)	平均：6.8 人 (1~20 人)

エステサロンの顧客ターゲットを図表 52 に示す。性別でみると「女性のみ」が 39.1% と最も多い。年代別でみると、「30 代」が 39.1% と最も多い。

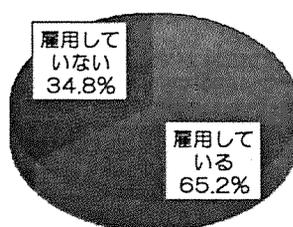
図表 52 【エステサロン】顧客ターゲット



エステサロンにおいては、施設の 65.2% (15 件) でスパ・セラピストの雇用がみられ、一施設平均 134.7 人を雇用している (最小 1 人、最大 1800 人)。

図表 53 【エステサロン】スパ・セラピストの雇用状況

雇用の有無 (n=23)



現在の雇用者数 (n=14)	平均：134.7 人 (1~1800 人)	5 年以内の新規雇用者数目標 (n=10)	平均：4.1 人 (1~10 人)
----------------	--------------------------	-----------------------	----------------------

エステサロンにおいて現在提供中と回答した割合の最も高いスパ・サービス・メニューは「アロマセラピー」であった。また、今後の提供・注力意向についても「アロマセラピー」が最も回答の割合が高かった。

図表 54 【エステサロン】スパ・サービス・メニュー：トップ5

現在提供中 (n=23)			今後提供・注力意向あり (n=23)		
rank	サービス・メニュー	回答率	rank	サービス・メニュー	回答率
1	アロマセラピー	87.0%	1	アロマセラピー	30.4%
2	フェイシャルトリートメント	82.6%	2	ダイエットプログラム	26.1%
3	リフレクソロジー	47.8%	3	フェイシャルトリートメント	21.7%
4	タラソセラピー	43.5%	3	アーユルヴェーダ	21.7%
5	ハーブボールトリートメント	30.4%	5	ハーブ・ボールマッサージ	17.4%
			5	ネイル・スパ	17.4%
			5	ライフスタイル指導	17.4%

※その他の回答は除く

スパ・セラピストの雇用が見られるエステサロン 15 件のうち、何らかの資格を保有するスパ・セラピストを雇用している施設の割合は 93.3% (14 件) であった。また、資格を保有するスパ・セラピストの人数は 69 人であった。

何らかの資格を保有するスパ・セラピストを雇用している 14 施設において、最も多くの施設で保有者がみられた資格は「日本エステティック協会認定エステティシャン」(71.4%) であった。また、資格保有者 69 人のうち、最も保有者の多い資格は「日本エステティック協会認定エステティシャン」(43.5%) であった。

図表 55 【エステサロン】資格保有状況：トップ5

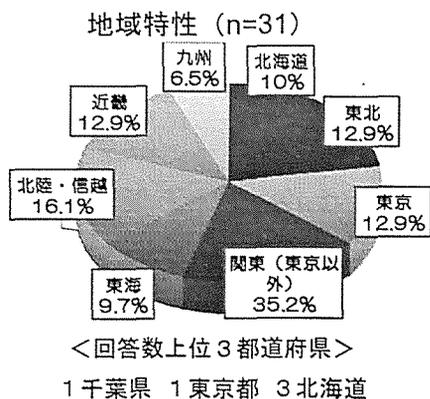
資格保有者を雇用している施設が多い資格			資格を保有するスパ・セラピストが多い資格		
rank	サービス・メニュー	回答率	rank	サービス・メニュー	回答率
1	日本エステティック協会 認定エステティシャン	71.4%	1	日本エステティック協会 認定エステティシャン	43.5%
2	アロマセラピー検定	42.9%	2	アロマセラピー検定	33.3%
2	アロマセラピスト資格	42.9%	2	アロマセラピスト資格	33.3%
4	リフレクソロジスト資格	28.6%	4	リフレクソロジスト資格	10.1%
5	CIDESCO	21.4%	5	CIDESCO	5.8%

※その他の回答は除く

(5) 健康ランド／スーパー銭湯

健康ランド／スーパー銭湯に分類したスパ施設（回答施設数 31 件）の特徴を図表 56 に示す。

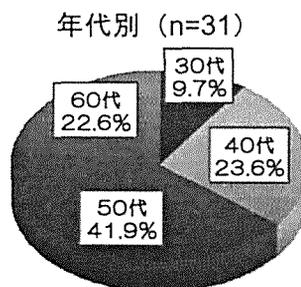
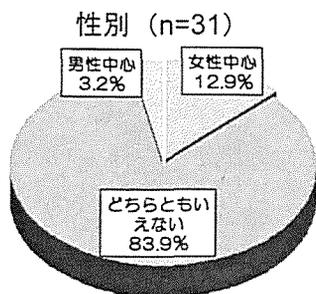
図表 56 【健康ランド／スーパー銭湯】施設の特徴



滞在型の割合 (n=30)	10.0%
客単価〔算出〕 (n=30)	平均：2,483 円
2008 年間来客者数 (n=26)	平均：242,814 人
施設面積 (n=29)	平均：2,884.3 m ² (60～15,000 m ²)
収容数 (n=31)	平均：475.9 人 (7～2,500 人)

健康ランド／スーパー銭湯の顧客ターゲットを図表 57 に示す。性別で見ると「どちらともいえない」が 83.9% と最も多い。年代別で見ると、「50代」が 41.9% と最も多い。

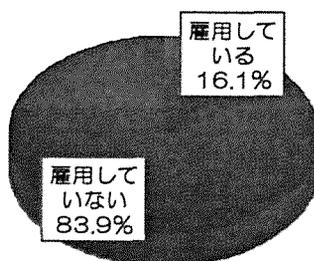
図表 57 【健康ランド／スーパー銭湯】顧客ターゲット



健康ランド／スーパー銭湯においては、施設の 16.1% (5 件) でスパ・セラピストの雇用がみられた、一施設平均 14.5 人を雇用している (最小 9 人、最大 20 人)。

図表 58 【健康ランド／スーパー銭湯】スパ・セラピストの雇用状況

雇用の有無 (n=31)



現在の雇用者数 (n=4)	平均：14.5 人 (9～20 人)	5 年以内の新規雇用者数目標 (n=3)	平均：10.0 人 (5～20 人)
---------------	-----------------------	----------------------	-----------------------

健康ランド／スーパー銭湯において現在提供中と回答した割合の最も高いスパ・サービス・メニューは「その他の指圧」、「フェイシャルトリートメント」であった。また、今後の提供・注力意向については「岩盤浴」が最も回答の割合が高かった。

図表 59 【健康ランド／スーパー銭湯】スパ・サービス・メニュー：トップ5

現在提供中 (n=31)			今後提供・注力意向あり (n=31)		
rank	サービス・メニュー	回答率	rank	サービス・メニュー	回答率
1	その他の指圧	51.6%	1	岩盤浴	25.8%
1	フェイシャルトリートメント	51.6%	2	その他の指圧	19.4%
3	ピーリング (アカスリ)	45.2%	3	フェイシャルトリートメント	16.1%
3	リフレクソロジー	45.2%	3	ネイル・スパ	16.1%
5	岩盤浴	32.3%	3	アロマセラピー	16.1%

※その他の回答は除く

スパ・セラピストの雇用が見られる健康ランド／スーパー銭湯 5 件のうち、何らかの資格を保有するスパ・セラピストを雇用している施設の割合は 60.0% (3 件) であった。また、資格を保有するスパ・セラピストの人数は 26 人であった。

何らかの資格を保有するスパ・セラピストを雇用している 3 施設において、最も多くの施設で保有者がみられた資格は「あん摩マッサージ指圧師 (国家資格)」(66.7%) であった。また、資格保有者 26 人のうち、最も保有者の多い資格は「アロマセラピー検定」(34.6%) であった。

図表 60 【健康ランド／スーパー銭湯】資格保有状況：トップ5

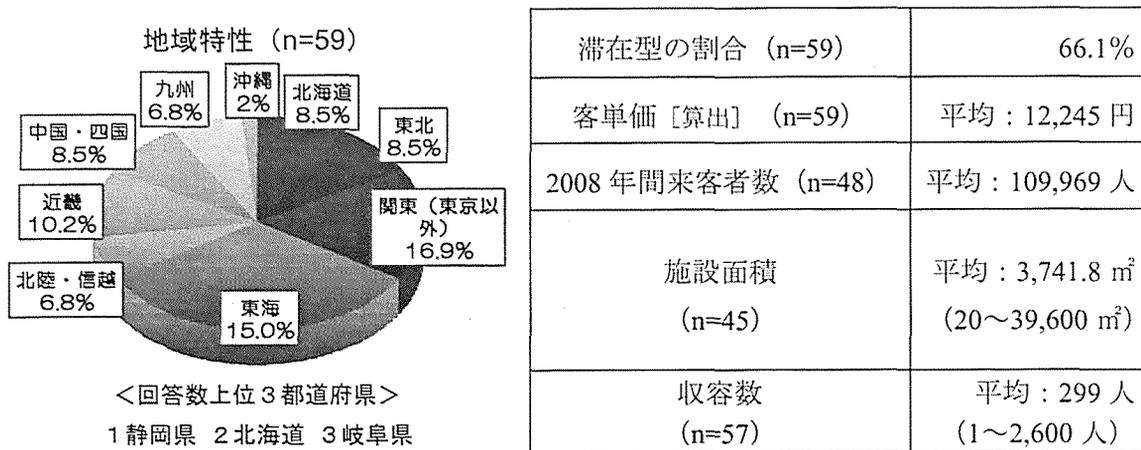
資格保有者を雇用している施設が多い資格			資格を保有するスパ・セラピストが多い資格		
rank	サービス・メニュー	回答率	rank	サービス・メニュー	回答率
1	あん摩マッサージ指圧師 (国家資格)	66.7%	1	アロマセラピー検定	34.6%
2	アロマセラピー検定	33.3%	1	アロマセラピスト資格	34.6%
2	アロマセラピスト資格	33.3%	3	あん摩マッサージ指圧師 (国家資格)	11.5%
2	はり師 (国家資格)	33.3%	4	はり師 (国家資格)	3.8%
2	柔道整復師 (国家資格)	33.3%	4	柔道整復師 (国家資格)	3.8%

※その他の回答は除く

(6) 温泉・旅館施設

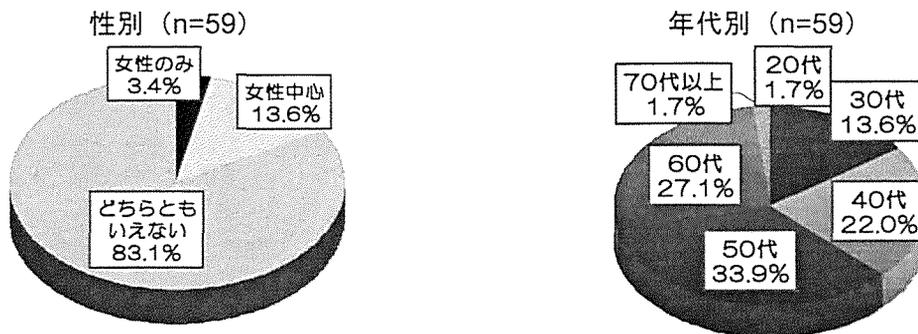
温泉・旅館施設に分類したスパ施設（回答施設数 59 件）の特徴を図表 61に示す。

図表 61 【温泉・旅館施設】施設の特徴



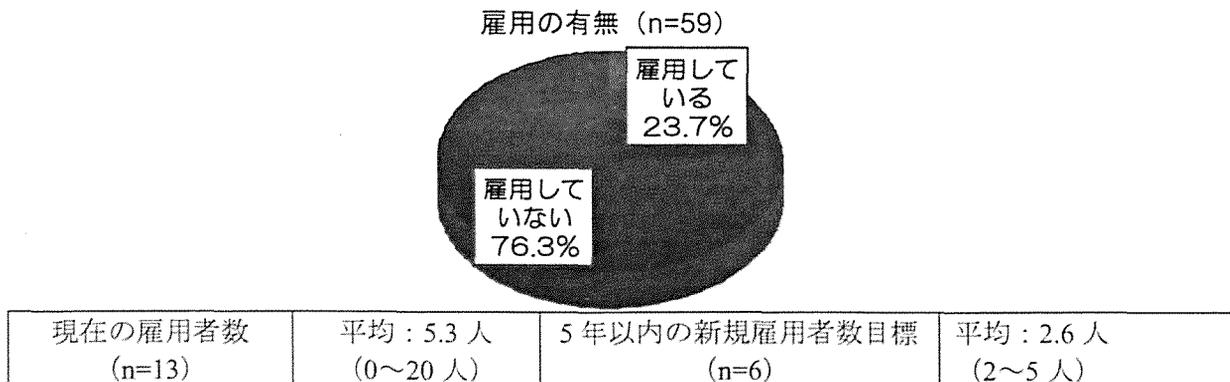
温泉・旅館施設の顧客ターゲットを図表 62に示す。性別でみると「どちらともいえない」が 83.1%と最も多い。年代別でみると、「50代」が 33.9%と最も多い。

図表 62 【温泉・旅館施設】顧客ターゲット



温泉・旅館施設においては、施設の 23.7%（14 件）でスパ・セラピストの雇用がみられ、一施設平均 5.3 人を雇用している（最小 0 人、最大 20 人）。

図表 63 【温泉・旅館施設】スパ・セラピストの雇用状況



温泉・旅館施設において現在提供中と回答した割合の最も高いスパ・サービス・メニューは「フェイシャルトリートメント」であった。また、今後の提供・注力意向についても「フェイシャルトリートメント」が最も回答の割合が高かった。

図表 64 【温泉・旅館施設】スパ・サービス・メニュー：トップ5

現在提供中 (n=59)

今後提供・注力意向あり (n=59)

rank	サービス・メニュー	回答率
1	フェイシャルトリートメント	50.8%
2	アロマセラピー	32.2%
3	その他の指圧	27.1%
4	リフレクソロジー	23.7%
5	岩盤浴	22.0%

rank	サービス・メニュー	回答率
1	フェイシャルトリートメント	20.3%
2	アロマセラピー	16.9%
3	岩盤浴	15.3%
4	ネイル・スパ	13.6%
5	天然水／泥に入浴	11.9%

※その他の回答は除く

スパ・セラピストの雇用が見られる温泉・旅館施設 14 件のうち、何らかの資格を保有するスパ・セラピストを雇用している施設の割合は 85.7% (12 件) であった。また、資格を保有するスパ・セラピストの人数は 58 人であった。

何らかの資格を保有するスパ・セラピストを雇用している 12 施設において、最も多くの施設で保有者がみられた資格は「アロマセラピスト資格」(50.0%) であった。また、資格保有者 58 人のうち、最も保有者の多い資格も「アロマセラピスト資格」(29.3%) であった。

図表 65 【温泉・旅館施設】資格保有状況：トップ5

資格保有者を雇用している施設が多い資格

資格を保有するスパ・セラピストが多い資格

rank	サービス・メニュー	回答率
1	アロマセラピスト資格	50.0%
2	リフレクソロジスト資格	33.3%
2	アロマセラピー検定	33.3%
4	日本エステティック協会 認定エステティシャン	25.0%
5	健康運動指導士	16.7%

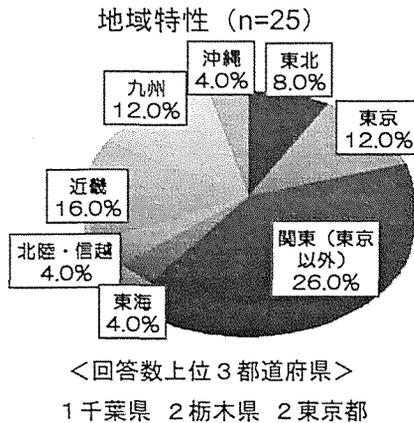
rank	サービス・メニュー	回答率
1	アロマセラピスト資格	29.3%
2	リフレクソロジスト資格	19.0%
3	アロマセラピー検定	13.8%
4	日本エステティック協会 認定エステティシャン	10.3%
5	健康運動指導士	5.2%

※その他の回答は除く

(7) フィットネス／スポーツ施設

フィットネス／スポーツ施設に分類したスパ施設（回答施設数 25 件）の特徴を図表 66に示す。

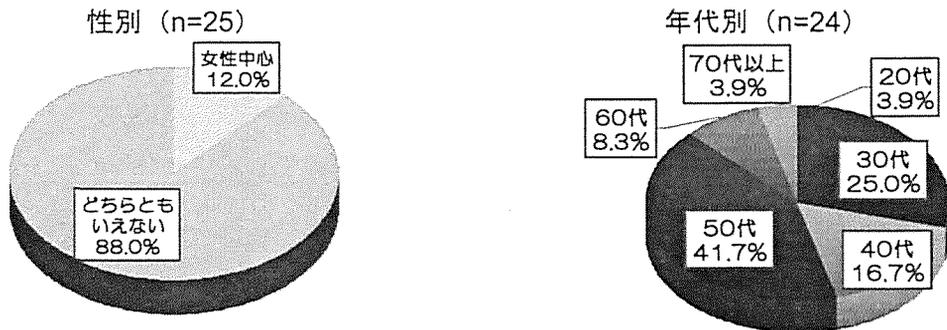
図表 66 【フィットネス／スポーツ施設】施設の特徴



滞在型の割合 (n=24)	0.0%
客単価〔算出〕 (n=25)	平均：6,119 円
2008 年間来客者数 (n=16)	平均：187,010 人
施設面積 (n=21)	平均：11,809.9 m ² (15～200,000 m ²)
収容数 (n=22)	平均：472.4 人 (1～5,000 人)

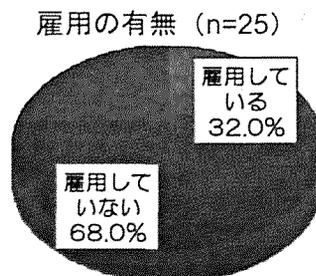
フィットネス／スポーツ施設の顧客ターゲットを図表 67に示す。性別で見ると「どちらともいえない」が 88.0%と最も多い。年代別で見ると、「50代」が 41.7%と最も多い。

図表 67 【フィットネス／スポーツ施設】顧客ターゲット



フィットネス／スポーツ施設においては、施設の 32.0%（8 件）でスパ・セラピストの雇用がみられ、一施設平均 27.7 人を雇用している（最小 1 人、最大 120 人）

図表 68 【フィットネス／スポーツ施設】スパ・セラピストの雇用状況



現在の雇用者数 (n=8)	平均：27.7 人 (1～120 人)	5 年以内の新規雇用者数目標 (n=4)	平均：11.2 人 (1～40 人)
---------------	------------------------	----------------------	-----------------------

フィットネス／スポーツ施設において現在提供中と回答した割合の最も高いスパ・サービス・メニューは「ヨガ」、「フィットネストレーニング」であった。また、今後の提供・注力意向については「アロマセラピー」が最も回答の割合が高かった。

図表 69 【フィットネス／スポーツ施設】スパ・サービス・メニュー：トップ5

現在提供中 (n=25)			今後提供・注力意向あり (n=25)		
rank	サービス・メニュー	回答率	rank	サービス・メニュー	回答率
1	ヨガ	92.0%	1	アロマセラピー	32.0%
1	フィットネストレーニング	92.0%	2	ダイエットプログラム	28.0%
3	ウェイトマシーン	88.0%	2	医療相談	28.0%
3	エアロビクス	88.0%	4	レクレーションプログラム	24.0%
5	ダイエットプログラム	84.0%	5	フェイシャルトリートメント	20.0%

※その他の回答は除く

スパ・セラピストの雇用が見られるフィットネス／スポーツ施設 8 件のうち、何らかの資格を保有するスパ・セラピストを雇用している施設の割合は 62.5% (5 件) であった。また、資格を保有するスパ・セラピストの人数は 20 人であった。

何らかの資格を保有するスパ・セラピストを雇用している 5 施設において最も多くの施設で保有者がみられた資格は、「健康運動指導士」(80.0%) であった。また、資格保有者 20 人のうち、最も保有者の多い資格も「健康運動指導士」(30.0%) であった。

図表 70 【フィットネス／スポーツ施設】資格保有状況：トップ5

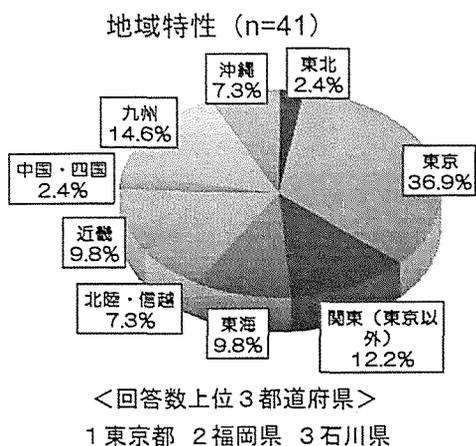
資格保有者を雇用している施設が多い資格			資格を保有するスパ・セラピストが多い資格		
rank	サービス・メニュー	回答率	rank	サービス・メニュー	回答率
1	健康運動指導士	80.0%	1	健康運動指導士	30.0%
2	健康運動実践指導者	60.0%	2	健康運動実践指導者	25.0%
3	アロマセラピスト資格	40.0%	2	あん摩マッサージ指圧師 (国家資格)	10.0%
4	日本エステティック業協会 認定エステティシャン	20.0%	4	アロマセラピスト資格	5.0%
4	あん摩マッサージ指圧師 (国家資格)	20.0%	5	日本エステティック業協会 認定エステティシャン	5.0%

※その他の回答は除く

(8) その他の施設

その他の施設²⁰に分類したスパ施設（回答施設数 41 件）の特徴を図表 71に示す。

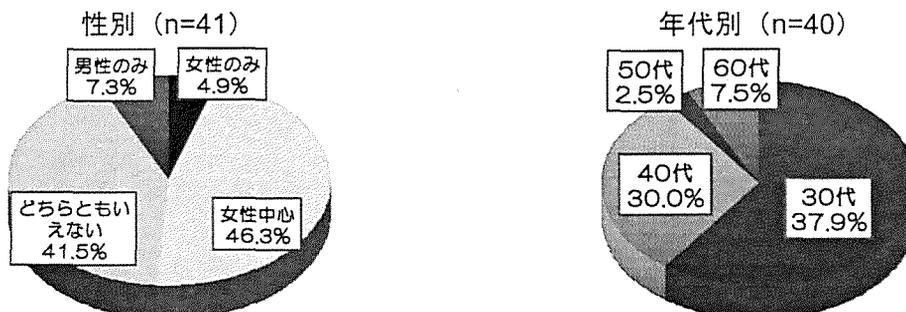
図表 71 【その他の施設】施設の特徴



滞在型の割合 (n=41)	14.6%
客単価 [算出] (n=41)	平均 : 9,938 円
2008 年間来客者数 (n=17)	平均 : 39,861 人
施設面積 (n=38)	平均 : 864.3 m ² (10~7,000 m ²)
収容数 (n=38)	平均 : 85.2 人 (2~500 人)

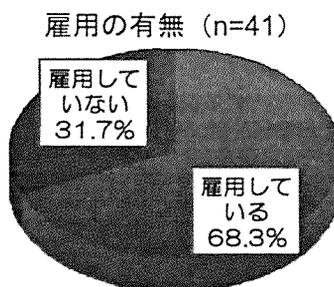
その他の施設の顧客ターゲットを図表 72に示す。性別で見ると「女性中心」が 46.3%と最も多い。年代別で見ると、「30代」が 37.9%と最も多い。

図表 72 【その他の施設】顧客ターゲット



その他の施設においては、施設の 68.3% (28 件) でスパ・セラピストの雇用がみられ、一施設平均 16.7 人を雇用している (最小 1 人、最大 200 人)。

図表 73 【その他の施設】スパ・セラピストの雇用状況



現在の雇用者数 (n=25)	平均 : 16.7 人 (1~200 人)	5 年以内の新規雇用者数目標 (n=17)	平均 : 22.1 人 (1~160 人)
----------------	--------------------------	-----------------------	--------------------------

²⁰ ヘアサロン、(他の分類に当てはまらない) 独立型の店舗、その他の施設と回答したスパ施設

その他の施設において現在提供中と回答した割合の最も高いスパ・サービス・メニューは「アロマセラピー」であった。また、今後の提供・注力意向についても「アロマセラピー」が最も回答の割合が高かった。

図表 74 【その他の施設】スパ・サービス・メニュー：トップ5

現在提供中 (n=41)			今後提供・注力意向あり (n=41)		
rank	サービス・メニュー	回答率	rank	サービス・メニュー	回答率
1	アロマセラピー	61.0%	1	アロマセラピー	26.8%
2	フェイシャルトリートメント	53.7%	2	フェイシャルトリートメント	22.0%
3	リフレクソロジー	51.2%	3	リフレクソロジー	17.1%
4	岩盤浴	26.8%	4	ハーブボールトリートメント	14.6%
5	ハーブ・ボールマッサージ	24.4%	4	ダイエットプログラム	14.6%
			4	ライフスタイル指導	14.6%

※その他の回答は除く

スパ・セラピストの雇用が見られるその他の施設 28 件のうち、何らかの資格を保有するスパ・セラピストを雇用している施設の割合は 92.9% (26 件) であった。また、資格を保有するスパ・セラピストの人数は 210 人であった。

何らかの資格を保有するスパ・セラピストを雇用している 26 施設において、最も多くの施設で保有者がみられた資格は「リフレクソロジスト資格」と「アロマセラピー検定」(それぞれ 38.5%) であった。また、資格保有者 210 人のうち、最も保有者の多い資格は「日本エステティック業協会認定エステティシャン」(50.5%) であった。

図表 75 【その他の施設】資格保有状況：トップ5

資格保有者を雇用している施設が多い資格			資格を保有するスパ・セラピストが多い資格		
rank	サービス・メニュー	回答率	rank	サービス・メニュー	回答率
1	リフレクソロジスト資格	38.5%	1	日本エステティック業協会 認定エステティシャン	50.5%
1	アロマセラピー検定	38.5%	2	リフレクソロジスト資格	11.9%
3	アロマセラピスト資格	30.8%	3	アロマセラピー検定	9.0%
4	CIDESCO	26.9%	4	健康運動実践指導者	6.7%
5	日本エステティック協会 認定エステティシャン	23.1%	5	アロマセラピスト資格	5.7%

※その他の回答は除く